

公益社団法人日本超音波医学会  
令和2年度定時社員総会

日時 令和2年6月21日（日）

会場 公益社団法人日本超音波医学会事務局会議室



公益社団法人

**日本超音波医学会**

*The Japan Society of Ultrasonics in Medicine*

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 2-23-1 お茶の水センタービル6階

URL : <https://www.jsum.or.jp>

TEL. 03-6380-3711 FAX. 03-5297-3744

E-mail : [office@jsum.or.jp](mailto:office@jsum.or.jp)

公益社団法人日本超音波医学会

## 令和2年度定時社員総会次第

開催日時 令和2年6月21日(日) 13時～14時

開催場所 公益社団法人日本超音波医学会事務局

東京都千代田区神田淡路町2-23-1 お茶の水センタービル6階  
(新型コロナウイルス感染症対策としてテレビ会議方式による出席も認める)

(理事長による進行)

開会

議長選出

(議長による進行)

理事長挨拶

理事長

議題

第1号議案 令和元年度事業報告(令和元年度事業報告及び附属明細書)の承認について  
(資料1)  
総務担当理事

第2号議案 令和元年度収支決算報告(令和元年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録)の承認について  
(資料2)  
財務担当理事

第3号議案 令和元年度収支決算監査報告の承認について  
(資料3)  
監事

第4号議案 令和2年度事業計画書について(報告事項)  
(資料4)  
総務担当理事

第5号議案 令和2年度収支予算書(令和2年度予算)、資金調達及び設備投資の見込を記載した書類について(報告事項)  
(資料5)  
財務担当理事

第6号議案 令和2・3年度役員を選任について(決議事項)  
(資料6)  
理事長

第7号議案 会費滞納による資格喪失者の状況(令和2年3月31日現在)(報告事項)  
(資料7)  
総務担当理事

第8号議案 名誉会員・功労会員の推薦について(承認事項)  
(資料8)  
理事長

第9号議案 その他  
(資料9)  
副理事長

議事録署名人の選出

閉会

## 平成30年度・令和元年度公益社団法人日本超音波医学会役員

理事長（代表理事） 工藤 正俊 副理事長（代表理事） 飯島 尋子 椎名 毅  
理事 秋山 いわき 大手 信之 小川 眞広 尾辻 豊 菊地 昭彦 北野 雅之 木原 康樹 田中 守  
千葉 裕 畠 二郎 蜂屋 弘之 平井 都始子 廣岡 芳樹 丸山 紀史 森 秀明 安田 鋭介  
山口 匡  
監事 金井 浩 中谷 敏

## 公益社団法人日本超音波医学会代議員名簿 一敬称略一（245名）

（自 令和2年4月1日 至 令和6年3月31日）

（医師）

相方浩 會澤信弘 赤坂和美 浅沼俊彦 蘆田玲子 麻生和信 阿部雅則 阿部倫明 飯島尋子  
飯野貴子 五十嵐達也 石井桂介 石川卓哉 石川英樹 石津智子 石本人士 伊集院裕康 泉知里  
依田広 井田良幸 市塚清健 市橋光 伊藤隆英 位藤俊一 井上勝次 伊吹恵里 岩田真一 岩瀧麻衣  
岩永史郎 岩野弘幸 上垣佐登子 植木敏晴 打田佐和子 内田政史 梅原永能 梅本剛 恵荘裕嗣  
大枝敏 大川和良 大倉宏之 大谷朋仁 大西哲存 大野栄三郎 大森浩二 緒方利安 小形幸代  
岡庭信司 小川力 小川眞広 小野尚文 尾本きよか 加地剛 金川武司 金森明 金子真大 金西賢治  
上出泰山 亀井桂太郎 亀田徹 狩山和也 川合宏哉 川崎元敬 川崎靖子 川嶋啓揮 川部直人  
菊池昭彦 岸野智則 北野雅之 熊川まり子 黒沢幸嗣 黒田英克 黒松亮子 桑田知之 合田亜希子  
小林浩一 小林さゆき 小林奈津子 小松篤史 紺野啓 西條芳文 斎藤こずえ 齋藤昌利 齊藤弥徳  
坂田好美 坂田泰史 坂本梓 櫻井健一 笹沼英紀 佐藤秀一 佐道俊幸 重田浩一朗 柴田英貴  
島田恵 志村浩己 下村壯治 白木克哉 陣崎雅弘 菅原政貴 杉原誉明 杉本勝俊 鈴木眞一  
鈴木康秋 鈴木和大 諏訪恵信 瀬尾由広 高木慎太郎 高口浩一 高橋宏和 高安賢太郎 武井康悦  
竹川英宏 竹田欽一 竹田泰治 多田俊史 埴田浩 立花克郎 辰巳和宏 田中新一郎 田中伸明  
田中秀和 田中宏和 田中守 谷垣伸治 谷口信行 玉井努 玉井秀幸 玉野正也 土谷薫 寺井崇二  
土肥薫 豊田茂 豊田秀徳 豊野学朋 内藤岳人 永井知雄 永井英成 中河原浩史 中島一毅  
仲田文造 中田雅彦 中谷敏 長沼裕子 永松健 中村進一郎 那須初子 成瀬勝彦 西上和宏  
西川かおり 西田直生志 西村重彦 西村貴士 二宮朋之 沼田和司 野々垣浩二 橋本千樹  
長谷川潤一 畠二郎 濱口浩敏 林香月 林秀樹 日浅陽一 日高庸博 日高央 平井都始子 平岡淳  
平野豊 平山みどり 広岡昌史 廣岡芳樹 福田優子 藤井雅邦 藤本正夫 古川まどか 古田眞智  
穂積健之 舛形尚 松居剛志 松岡隆 松原浩 松本賢亮 松本直樹 的野智光 眞部紀明 眞野敏昭  
丸上永晃 丸山紀史 三浦隆生 南康範 宮坂陽子 村上司 村田晋 村田光繁 森秀明 安井豊  
山下竜也 山下信行 山田晶 山田聡 山田博胤 山野哲弘 山野倫代 山本一博 山本祐華  
湯浅敏典 湯田聡 吉川昌平 吉里俊幸 吉田寛 吉牟田剛 竜崎仁美 和田誠司 和田靖明 渡邊望  
渡邊博之 渡邊幸信（215名）

（理工学関係者）

秋山いわき 東隆 阿部康彦 荒川元孝 小笠原正文 尾高北斗 金井浩 神山直久 川岸哲也  
工藤信樹 椎名毅 園山輝幸 田口孝典 谷川俊一郎 内藤みわ 新田尚隆 橋本浩 長谷川英之  
松村剛 嶺喜隆 山崎聡 吉澤晋 脇康治（23名）

（医師・理工学関係者以外）

乙部克彦 佐藤洋 高田厚照 南里和秀 西田睦 安田鋭介 脇英彦（7名）

補欠の代議員 氏名及び順位順

（医師）①小川浩司 ②長川達哉 ③小室薫 ④大原貴裕 ⑤渡邊哲 ⑥伏見悦子 ⑦高野真澄 ⑧鈴木克典 ⑨堤誠司

（理工学関係者）①土屋健伸 ②榊田晃司 ③蜂屋弘之 ④山口匡

（医師・理工学関係者以外）①竹島賢治 ②小川定信 ③丹羽文彦 ④秋山敏一 ⑤山本幸治 ⑥石崎一穂

(資料 1)

公益社団法人日本超音波医学会 令和元年度事業報告及び附属明細書

(自平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

[令和元年度事業報告] 事業報告は、以下のとおりである。

I 会員の現況

(令和2年3月31日現在)

会員種別	平成31年3月31日 現在数	令和2年3月31日 現在数	増減
名誉会員	30	30	0
功労会員	106	111	5
正会員	6,868	6,742	△126
シニア会員	818	916	98
準会員	7,465	7,987	522
学生会員	13	10	△3
賛助会員	12(43口)	11(41口)	△1(△2口)
合計	15,312	15,807	495

名誉会員(下記57名) (\*物故者)

\*青柳 健次、\*加藤 金正、\*菊池 喜充、\*田中 憲二、\*吉田 常雄、\*吉岡 勝哉、\*永山 徳郎、\*金子 仁郎、  
\*実吉 純一、\*古賀 孝、\*海老原 敏明、\*板原 克哉、\*岡 益尚、\*奥山 大太郎、\*安藤 弘、\*井出 正男、  
\*奥島 基良、\*中島 茂、\*林 周一、\*有賀 槐三、\*John J. Wild、\*Floyd Dunn、\*仁村 泰治、\*尾本 良三、  
\*伊藤 健一、\*吉川 純一、\*岡井 崇 (27名)

和賀井 敏夫、竹原 靖明、福田 守道、渡邊 決、松尾 裕英、平田 経雄、飯沼 一浩、堤 裕、竹内 久彌、  
田中 元直、北島 顕、名取 博、中山 淑、伊東 紘一、伊東 正安、菅原 基晃、大槻 茂雄、棚橋 善克、  
別府 慎太郎、跡見 裕、遠藤 信行、八木 晋一、田中 幸子、松崎 益徳、千田 彰一、Byung Ihn Choi、  
森安 史典、Yi-Hong Chou、竹中 克、Seung-Hyup Kim (30名)

[公益目的事業 学会誌等出版事業]

II 学会誌の発行

和文誌「超音波医学」Vol.46、Supplement、No.3~6とVol.47、No.1~2の7冊、及び英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」Vol.46、No.2~4とVol.47、No.1の4冊、計11冊を発行した。

		和文誌						英文誌				論文数 (計)	
号巻		46- Suppl	46- 3	46- 4	46- 5	46- 6	47- 1	47- 2	46- 2	46- 3	46- 4		47- 1
本文ページ数		829	72	99	106	84	49	50	109	77	161	152	
主な論文ページ数	総説 (Review article)	—	0 (0)	34 (4)	37 (3)	10 (1)	11 (1)	27 (3)	0 (0)	26 (3)	23 (2)	0 (0)	17
	特集 (State of the Art)	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	38 (4)	10
	解説 (Tutorial)	—	4 (1)	4 (1)	3 (1)	—	—	—	—	—	—	—	3

原著 (Original Article)	—	17 (2)	15 (2)	0 (0)	0 (0)	6 (1)	11 (1)	57 (8)	44 (5)	111 (14)	92 (11)	44
症例報告 (Case Report)	—	16 (3)	10 (1)	22 (3)	14 (3)	8 (1)	7 (1)	38 (8)	—	—	—	20
技術報告 (Technical note)	—	0 (0)	0 (0)	5 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	—	1
Image	—	—	—	—	—	—	—	—	0 (0)	2 (1)	9 (4)	5
今月の超音波像 (Ultrasound Image of the Month)	—	3 (2)	0 (0)	4 (2)	0 (0)	4 (2)	0 (0)	—	—	—	—	6
Letter to the Editor	—	3 (1)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)	0 (0)	4
Editorial	—	1	1	2	1	1	1	1	1	4	1	
学術集会プログラム	138	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
学術集会抄録	632	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
会告	—	3	7	14	3	—	—	—	—	—	—	
学会ニュース	—	4	4	3	3	—	—	—	—	—	—	
その他	59	21	21	18	18	19	4	13	7	17	12	

( )内は掲載論文等の数

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業]

### Ⅲ 学術集会

第92回学術集会(会長 森 秀明)は、令和元年5月24日から5月26日の3日間、グランドプリンスホテル新高輪(東京都港区)を会場として開催した。参加人員6,862名、発表内容は下記のとおり。

第92回学術集会	
一般演題	奨励賞選考口演会 18題(基礎5、循環器4、腹部3、産婦人科3、腎・泌尿器2、体表1) 一般演題 450題(基礎65、循環器82、消化器121、産婦人科88、乳腺14、甲状腺10、 腎・泌尿器16、血管16、頭頸部5、運動6、小児6、その他21) 合計 468題
会長講演	超音波医学に対する取り組み —日本超音波医学会における委員会活動と執筆活動—
特別プログラム	領域横断 シンポジウム 1)プライマリ・ケアにおける超音波検査実践活用術～腹部：肝・胆・膵疾患～ 2)一度見たら忘れない症例、記憶に残る症例(救急を含めて) 3)AI：超音波診断の近未来 4)各領域における Shear wave elastography の最新知見 5)医学生および初期研修医のための超音波指導・教育について～POCUSの視点で～ 6)小さな子どもの小さなパーツのエコー診断 ワークショップ 超音波検査の精度保証、教育システム構築(検査室の国際的基準ISO 15189について)

	<p><b>基礎</b></p> <p>シンポジウム</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 生体組織に対する超音波照射の影響とその応用</li> <li>2) 定量診断における指標と将来展望</li> <li>3) 超音波と他モダリティとの融合技術(日本超音波医学会光超音波画像研究会との共同企画)</li> <li>4) 並列ビーム形成技術とその応用(日本超音波医学会基礎技術研究会との共同企画)</li> </ol> <p><b>循環器</b></p> <p>シンポジウム</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) SHD に対する低侵襲治療(血管内治療)における心エコーの役割と限界</li> <li>2) 全身性疾患に合併する心・血管病変；超音波検査を活かすには？</li> <li>3) 役に立つのか負荷心エコー：症例から学ぶその役割</li> <li>4) Multimodality 時代における二次性心筋症の診断；心エコーの価値とは？</li> <li>5) 心機能評価の新たな技術と視点</li> <li>6) 心不全診療における他臓器(形態・機能)の超音波評価の重要性</li> <li>7) Oncocardiology における心エコーの役割</li> <li>8) 弁膜症ガイドライン(日米欧を含む)を用いた診療の日本における問題点：症例から考える</li> <li>9) 左室拡張機能の評価は臨床で役に立っているのか？</li> <li>10) 先天性心疾患(成人含む)の診療における超音波検査の役割</li> </ol> <p>パネルディスカッション</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日常臨床における心血管エコー計測項目の選択と計測方法：ガイドラインの使い方</li> <li>2) 心エコーの精度をいかに保つか(自動計測 vs マニュアル計測など含め)</li> </ol> <p><b>消化器</b></p> <p>シンポジウム</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 臨床に活かす超音波検査</li> <li>2) 予後の良い膵癌(10mm以下膵癌または CIS)発見に超音波検査が如何に貢献しうるか？</li> <li>3) 肝線維化診断の展望</li> </ol> <p>パネルディスカッション</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 新規超音波診断技術を用いた膵実質の評価</li> <li>2) 超音波を用いた消化管の血流、機能評価</li> <li>3) 肝癌診療と超音波：最新の治療支援と効果判定テクニック</li> <li>4) IBD の超音波によるモニタリング</li> <li>5) 肝脂肪と超音波：基礎から臨床、そして未来へ</li> <li>6) 腹部 POCUS における教育の在り方(急性腹症を含めて)</li> </ol> <p>ワークショップ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 肝臓疾患：画像と病理の接点と乖離</li> <li>2) 超音波が診断に有用であった消化管疾患</li> <li>3) 消化器疾患におけるドブラ検査の有用性</li> <li>4) 胆膵領域における elasticity imaging の役割</li> </ol> <p><b>産婦人科</b></p> <p>シンポジウム</p> <p>妊娠高血圧症候群と胎児胎盤機能不全における超音波検査の役割</p> <p>ワークショップ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 女性医学と超音波</li> <li>2) 産婦人科領域で有望な新技術</li> <li>3) 妊娠初期スクリーニングー超音波とNIPTー</li> <li>4) 胎児心臓異常のスクリーニングー臨床現場の抱える課題は？ー</li> </ol> <p><b>小児</b></p> <p>シンポジウム</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 立体的に考える先天性心疾患</li> <li>2) 小児急性腹症の超音波診断</li> </ol>
--	--

	<p>乳腺</p> <p>シンポジウム</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Bモード、エラストグラフィ、血流評価を用いた病理診断予測 —Comprehensive Ultrasound—</li> <li>2) 乳房造影超音波撮像のPitfall</li> </ol> <p>パネルディスカッション</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 乳がん手術に超音波診断をいかに応用するか(Comprehensive ultrasound による切除範囲決定への応用)</li> <li>2) 乳がん薬物治療効果判定における超音波診断の応用(各種モダリティとの比較を含めて)</li> </ol> <p>甲状腺</p> <p>国際シンポジウム</p> <p>甲状腺結節の診断基準 —TI-RADS を再考する—</p> <p>シンポジウム</p> <p>小児甲状腺の超音波診断</p> <p>パネルディスカッション</p> <p>甲状腺結節の縦横比</p> <p>ワークショップ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 甲状腺結節の血流評価 —新診断基準に向けて—</li> <li>2) 甲状腺疾患における組織弾性評価</li> </ol> <p>頭頸部</p> <p>パネルディスカッション</p> <p>咽・喉頭疾患における超音波診断の積極的活用について</p> <p>泌尿器</p> <p>シンポジウム</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Multi-parametric Ultrasound for Prostate</li> <li>2) 超音波が診断に役に立った腎泌尿器疾患症例</li> </ol> <p>ワークショップ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 超音波で膀胱を診る</li> <li>2) 多職種への泌尿器超音波の普及・教育の工夫</li> </ol> <p>血管</p> <p>シンポジウム</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 治療に活かす血管エコー：大動脈、腎動脈、末梢動脈、Vascular access</li> <li>2) 治療に活かす静脈エコー：深部静脈血栓症、静脈瘤</li> <li>3) 頭頸部血管エコーを活かす：救急・健診・診療所・病院でのエコー活用術</li> <li>4) 血管エコー温故知新(基礎的な知識と新しい技術を学ぶ)</li> <li>5) 血管エコーレポート作成のポイント：医師からの要望に答える</li> </ol> <p>ワークショップ</p> <p>血管エコー標準化の意義：何が求められているか？血管領域におけるガイドラインの現状と問題点</p> <p>運動器</p> <p>シンポジウム</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 専門の壁に挑む ～運動器臨床医から非整形外科専門医への提言～</li> <li>2) 上肢の痛み・痺れに対する超音波診療の実際</li> <li>3) 下肢の痛み・痺れに対する超音波診療の実際</li> <li>4) 体幹部の痛みに対する超音波診療の実際</li> </ol> <p>パネルディスカッション</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 東京オリンピック・パラリンピック2020 特別企画：アスリートに対する超音波診療の実際 I</li> <li>2) 東京オリンピック・パラリンピック2020 特別企画：アスリートに対する超音波診療の実際 II</li> </ol>
--	---

	検査士特別プログラム 指導検査士を多面的に考える 男女共同参画委員会企画 医療者のためのアンダーマネジメント入門 機器安全委員会企画 いまさら聞けない超音波診断装置の使い方～正確な診断、適正な画像保存のために～ 超音波検査士制度委員会企画 認定超音波検査士取得のための報告書等作成時のポイントと注意点 本会と他の学会との共同企画 日本膵臓学会との共同企画 膵疾患に対する造影超音波検査の有用性と今後の展開 日本超音波検査学会との共同企画 超音波検査士における Quality Assurance 日本消化器がん検診学会・日本人間ドック学会との共同企画 カテゴリー判定を活かすー腹部超音波検診判定マニュアルの現状と改訂に向けてー 日本動脈硬化学会との共同企画 成人家族性高コレステロール血症スクリーニングに用いる「超音波法によるアキレス腱厚測定」の標準的評価法：その意義と検査法の実際
教育セッション	1)基礎 2題 2)初級 5題 3)中上級 8題
その他	新人賞口演、研究開発班研究成果発表会、必修講習会、ハンズオンセミナー、ランチオンセミナーなど
機器展示	22社
教育セッション	1)基礎 2題 2)初級 5題 3)中上級 8題
その他	新人賞口演、研究開発班研究成果発表会、必修講習会、ハンズオンセミナー、ランチオンセミナーなど
機器展示	22社

#### IV 地方会学術集会

下記の地方会学術集会を開催した。

##### a. 北海道地方会学術集会

第49回 会長 湯田 聡

令和2年10月12日 於：北海道大学学術交流会館（北海道札幌市）参加者：371名 演題数：41題

##### b. 東北地方会学術集会

第58回 会長 渡辺 哲

令和元年9月29日 於：山形テルサ（山形県山形市）参加者：188名 演題数：34題

第59回 会長 赤羽 武弘

令和2年3月1日 紙上開催 演題数：30題

国の新型コロナウイルス感染症拡大防止の要請を受け、仙台国際センター（宮城県仙台市）での開催を中止し、紙上で開催した。

##### c. 関東甲信越地方会学術集会

第31回 会長 関口 隆三

令和元年10月19日～20日 於：TFT ホール（東京都江東区）参加者：1785名 演題数：160題

##### d. 中部地方会学術集会

第40回 会長 橋本 千樹

令和元年9月8日 於：名古屋国際会議場（愛知県名古屋市）参加者：726名 演題数：46題

- e. 関西地方会学術集会  
第46回 会長 平野 豊  
令和元年10月26日 於：グランキューブ大阪（大阪府大阪市）参加者：1360名 演題数：155題
- f. 中国地方会学術集会  
第55回 会長 田中 伸明  
令和元年9月7日 於：YIC スタジオ（山口県山口市）参加者：309名 演題数：60題
- g. 四国地方会学術集会  
第29回 会長 大森 浩二  
令和元年10月12日 於：かがわ国際会議場 / サンポートホール高松（香川県高松市）  
参加者：270名 演題数：51題
- h. 九州地方会学術集会  
第29回 会長 竹内 正明  
令和元年10月6日 於：北九州国際会議場（福岡県北九州市）参加者：938名 演題数：92題

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業]

V 教育セッション・超音波診断講習会・必修講習会

下記の教育セッション・超音波診断講習会・必修講習会を開催した。

第18回教育セッション

令和元年5月25日～26日 於：グランドプリンスホテル新高輪（東京都港区）参加者：1,170名

超音波診断講習会

超音波講習会(消化管)

令和元年10月5日 於：神戸商工会議所会館 神商ホール（兵庫県神戸市）参加者：144名

超音波講習会(心エコー)

令和元年11月2日 於：品川グランドホール（東京都港区）参加者：245名

超音波講習会(乳腺)

令和2年1月25日 於：エルガーラホール（福岡市中央区）参加者：131名

超音波講習会(体表)

令和2年2月23日 於：品川グランドホール（東京都港区）参加者：230名

小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)

第18回小規模講習会

令和元年6月21日 於：新潟医療人育成センターシミュレーション室（新潟県新潟市）参加者：15名

第19回小規模講習会

令和元年10月26日 於：熊本大学医学部附属病院（熊本県熊本市）参加者：24名

第20回小規模講習会

令和元年8月23日 於：佐賀大学医学部成人・老年看護実習室（佐賀県佐賀市）参加者：14名

第21回小規模講習会

令和元年10月11日 於：手稲溪仁会病院（北海道札幌市）参加者：17名

第22回小規模講習会

令和元年10月25日 於：鳥取大学医学部附属病院（鳥取県米子市）参加者：14名

必修講習会

第1回必修講習会

令和元年5月25日 於：グランドプリンスホテル新高輪（東京都港区）参加者：201名

第2回必修講習会

令和元年5月26日 於：グランドプリンスホテル新高輪（東京都港区）参加者：450名

第3回必修講習会

令和元年5月26日 於：さくらタワー（東京都港区）参加者：153名

第4回必修講習会

令和元年10月26日 於：グランキューブ大阪（大阪府大阪市）参加者：192名

第5回必修講習会

令和元年10月20日 於：ビックサイト TFT ホール（東京都江東区）参加者：287名

## VI 各種委員会等

[会員相互補助事業]

### 1. 企画委員会 (委員長 飯島 尋子)

新たな活動は行わなかった。

[公益目的事業 調査研究事業]

### 2. 機器及び安全に関する委員会 (委員長 秋山 いわき)

- a. 「超音波の安全性」についての調査、啓発活動を行った。
- b. 「音響放射力の生体への影響検討小委員会」において、音響放射力インパルスの生体への影響について検討を行った。
- c. 「経腔探触子の消毒法に関する小委員会」において、経腔探触子の消毒法に関する検討を行った。
- d. 「SWE (shear wave elastography) の標準化小委員会」において、診断の標準化に関する検討を行った。
- e. 「超音波生体作用実験ガイドライン」を学会誌に掲載するための検討を行った。
- f. 超音波診断機器の安全規格に関する最新動向を把握するため、国際電気標準会議 (IEC) に委員を派遣した。
- g. 第 92 回学術集會会期中に特別企画「いまさら聞けない超音波診断装置の使い方」を実施した。
- h. 「診断用超音波の安全な使用」の改定を行った。

[公益目的事業 学会誌等出版事業]

### 3. 編集委員会 (委員長 廣岡 芳樹)

- a. 和文誌「超音波医学」(7冊)：第 46 巻 Supplement 号、3～6 号及び第 47 巻 1・2 号並びに英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」(4冊)：第 46 巻 2～4 号及び第 47 巻 1 号の計 11 冊を発行した。(Supplement 号については電子版のみ発行した。)(Ⅱ項参照)
- b. 総説及び特集などの執筆を依頼し、総説 13 編、特集 8 編を掲載した。
- c. Impact Factor 値の上昇の方策について検討を行った。
- d. 和文誌は冊子体を廃止し、メールマガジンとして会告号、機関誌号、イベント号の配信を行った。

[公益目的事業 調査研究事業]

### 4. 用語・診断基準委員会 (委員長 平井 都始子)

- a. 医用超音波用語関係  
他学会との交流及び連携を図り、用語の整合性について検討を行った。
- b. 診断基準関係
  - 1) 「消化管診断基準」公示に向けて検討を行った。
  - 2) 「胆嚢腫瘍診断基準」公示に向けて検討を行った。
  - 3) 「脂肪肝の超音波診断基準」公示に向けて検討を行った。
  - 4) 「双胎妊娠胎児の標準値」公示に向けて検討を行った。
  - 5) 「胎児超音波スクリーニングガイドライン」公示に向けて検討を行った。
  - 6) 「非腫瘍性病変乳腺疾患ガイドライン」公示に向けて検討を行った。
  - 7) 「乳房造影超音波診断基準」公示に向けて検討を行った。
  - 8) 「胸部超音波用語・診断基準」公示に向けて検討を行った。
  - 9) 「腹部超音波検診判定マニュアル」改訂に向けて検討を行った。
  - 10) 「膀胱超音波診断基準」改訂に向けて検討を行った。
  - 11) 「超音波による大動脈病変の標準的評価法」改訂に向けて検討を行った。
  - 12) 「超音波による四肢動脈病変の標準的評価法」改訂に向けて検討を行った。

[法人事業/法人管理関係]

### 5. 保険委員会 (委員長 森 秀明)

- a. 引き続き、内保連・外保連に委員を派遣し、関連他学会との情報交換を行った。
- b. 令和 3 年度診療報酬改定に向けて要望項目について、会員にアンケート調査を行い、次回診療報酬改定に向けての準備を行った。
- c. 例年のように超音波専門医研修施設宛に各種超音波検査の年間検査件数、及び検査に携わる医師や技師の実態把握のためのアンケート調査を行った。

[公益目的事業 国際交流事業]

#### 6. 国際交流委員会 (委員長 工藤 正俊)

- a. 公益社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUM Fellowship)関係  
「公益社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して、下記の活動を行った。
  - 1)2019年度 JSUM Fellowship 研修生1名の研修を実施した。
  - 2)2020年度 JSUM Fellowship 研修生を公募し、選考を行った。
  - 3)今後の国際貢献のあり方について検討を行った。
- b. アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)・世界超音波医学学術連合大会(WFUMB)関係
  - 1)令和2年に北京(令和2年10月27日～30日)にて開催される第14回 AFSUMB 大会に学術、広報などの面で協力した。
  - 2)令和元年にオーストラリア(令和元年9月5日～9日)にて開催された第17回 WFUMB 大会に学術、広報などの面で協力した。
  - 3)英文誌(Journal of Medical Ultrasonics)及び AFSUMB と本会ウェブサイトにおいて JSUM Fellowship の募集広告を行った。
  - 4)AFSUMB と WFUMB の Education Program に協力した。
  - 5)公益社団法人日本超音波医学会の国際化を一層推進するため、新たな交流事業について検討を行った。
- c. 超音波医学に関して国際的に活躍されている方で本会名誉会員にふさわしい方を検討し、理事会へ推薦した。

[公益事業 学術集会・講習会等事業]

#### 7. 教育委員会 (委員長 小川 真広)

- a. 第92回学術集會会期中にグランドプリンスホテル新高輪を会場として、第18回教育セッションを開催した。(V項参照)
- b. 第93回学術集會会期中に開催予定の「第19回教育セッション」を企画し、開催に向けての準備を行った
- c. 「超音波診断講習会」を計4回実施した。(V項参照)
- d. 令和2年度に開催する「超音波診断講習会」を企画し、開催に向けての準備を行った。
- e. 「小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)」を6回実施した。
- f. 令和2年度に開催する「小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)」を企画し、開催に向けての準備を行った。
- g. 必修講習会を5回実施した。

[収益事業 資格認定事業]

#### 8. 超音波専門医制度委員会 (委員長 北野 雅之)

- a. 平成31年度に指定した研修施設(新規30施設、更新37施設)に、平成31年4月1日付で指定証を交付した。
- b. 令和2年度研修施設及び研修施設群の指定に向けて審査を実施し、新規36施設(研修施設29施設、基幹施設3施設、連携施設4施設)、更新53施設(研修施設36施設、基幹施設15施設、連携施設2施設)、指定変更128施設(基幹施設128施設)を指定した。
- c. 第29回超音波専門医認定試験を実施し、合格者121名の超音波専門医の認定・登録を行った。
- d. 第30回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、同認定試験実施に関する会告を公示した。
- e. 第25回超音波専門医資格更新審査を実施し、更新者274名、猶予者1名の認定・登録を行った。
- f. 令和元年度超音波指導医認定審査を実施し、再委嘱153名、新規100名の認定・登録を行った。
- g. 超音波研修カリキュラムに沿った超音波研修プログラムのモデルを検討した。
- h. 超音波専門医制度に関わるウェブサイトページの充実化を図った。
- i. 超音波専門医制度に関する会員への啓発を積極的に行った。
- j. 超音波専門医制度に関する他学会との連携を深めた。
- k. 一般社団法人日本専門医機構の事業に主体的に関わって、専門医制度の資質向上を図った。
- l. 新専門医制度への移行に備え、一般社団法人日本専門医機構からサブスペシャリティ領域の承認が得られるように対策を進めた。

[公益目的事業 表彰事業]

9. 顕彰委員会 (委員長 椎名 毅)

a. 第 21 回特別学会賞の選考を行い、以下の 1 名に授与した。

竹中 克 (日本大学板橋病院)

b. 第 18 回松尾賞の選考を行い、以下の 1 名に授与した。

工藤 信樹 (北海道大学大学院 情報科学研究科)

c. 第 19 回技術賞は該当者がなかった。

d. 第 33 回菊池賞(論文賞) は該当者がなかった。

e. 第 14 回伊東賞(論文賞)の選考を行い、以下の 2 編に授賞した。

「Liver fbrosis: noninvasive assessment using supersonic shear imaging and FIB4 index in patients with non-alcoholic fatty liver disease」

(J Med Ultrasonics Vol.45, No.2)

Hirohito Takeuchi1、Katsutoshi Sugimoto1、Hisashi Oshiro2、Kunio Iwatsuka3、Shin Konol、Yu Yoshimasul、Yoshitaka Kasail、Yoshihiro Furuichil、Kentaro Sakamaki4、Takao Itoil (1 Department of Gastroenterology and Hepatology、Tokyo Medical University、2Department of Pathology、Jichi Medical University、Tochigi、Japan、3Division of Gastroenterology and Hepatology、Department of Medicine、Nihon University School of Medicine、Tokyo、Japan、4Department of Biostatistics and Bioinformatics、Graduate School of Medicine、University of Tokyo、Tokyo、Japan)

「Fusion imaging with contrast-enhanced ultrasonography for evaluating the early therapeutic efficacy of radiofrequency ablation for small hypervascular hepatocellular carcinomas with iso-echoic or unclear margins on conventional ultrasonography」(J Med Ultrasonics Vol.45, No.3)

Shuhei Nishigori1、Kazushi Numatal、Kuniyasu Iriel、Hiroyuki Fukuda1、Makoto Chuma1、Shin Maeda2 (1 Gastroenterological Center、Yokohama City University Medical Center、2 Division of Gastroenterology、Yokohama City University Graduate School of Medicine)

f. 第 20 回奨励賞の選考を行い、以下の 7 名に授与した。

[基礎] 超高速超音波断層法による心臓内血流ダイナミクスと流速ベクトルの可視化  
長岡 亮 (富山大学大学院)

[体表臓器] 超音波画像を用いた新たな神経ブロック後鎮痛効果判定法の開発研究  
千葉 英美子 (自治医科大学附属さいたま医療センター)

[循環器] 僧帽弁形成術前後の弁尖・乳頭筋動態：全収縮期および収縮後期逸脱における相違  
屏 荘史 (産業医科大学)

[循環器] 僧帽弁輪移動距離計測 (TMAD) による駆出率保持された高度大動脈弁狭窄の予後予測  
寺口 郁子 (和歌山県立医科大学)

[消化器] Venous-wave elastography: 肝静脈波形定量化による新しい肝線維化評価法  
揃田 陽子 (東京大学医学部附属病院)

[腎・泌尿器] 腎癌に対する凍結療法施行後の腎超音波検査の有用性  
乾 将吾 (京都府立医科大学)

[産婦人科] 前置胎盤における 3D 経腔超音波を用いた子宮下部の胎盤体積と帝王切開時出血量の関係  
永易 洋子 (大阪医科大学)

g. 第 8 回新人賞(地方会)の選考を行い、以下の 8 名に授与した。

[北海道地方会] 第 48 回北海道地方会学術集会発表

【基礎】「樹状細胞の伸展状態がソノポレーションによる気泡のふるまいと膜損傷の発生に与える影響」 松本 龍之介 (北海道大学 大学院情報科学研究科)

[東北地方会] 第 56 回東北地方会学術集会発表

【基礎】「音響力学治療用集束超音波の焦点走査による活性酸素生成効率への影響」  
益子 大作 (東北大学 医工学研究科)

[関東甲信越地方会] 第 30 回関東甲信越地方会学術集会発表

【産婦人科】「妊娠初期超音波検査による双胎間輸血症候群の発症予測についての検討」

齋藤 水絵 (昭和大学 医学部産婦人科学講座)

[中部地方会] 第 39 回関東甲信越地方会学術集会発表

【産婦人科】「巨大子宮動静脈奇形の 1 例」 磯谷 肇男 (トヨタ記念病院 産婦人科)

[関西地方会] 第 45 回関西地方会学術集会発表

【基礎】「関節リウマチ診断のための光超音波 3D 指血管イメージングシステムの開発」

西山 美咲 (京都大学 医学研究科人間健康科学系専攻)

[中国地方会] 第 54 回中国地方会学術集会発表

【消化器】「造影 US で隔壁様の造影所見を呈した腹腔内血腫の一例」

岸本 健一 (島根大学医学部附属病院 内科学第二)

[四国地方会] 第 28 回四国地方会学術集会発表

【消化器】「肝不全症例における肝細胞癌破裂に対する治療方針決定に造影超音波検査が有用であった一例」 泉本 裕文 (愛媛県立中央病院 消化器病センター・内科)

[九州地方会] 第 28 回九州地方会学術集会発表

【消化器】「小児腸重積症に対する超音波ガイド下整復の有効性」

木下 正和 (北九州市立八幡病院 小児救急センター)

[収益事業 資格認定事業]

#### 10. 超音波検査士制度委員会 (委員長 森 秀明)

- a. 第 35 回超音波検査士認定試験を実施し、合格者 1330 名の超音波検査士の認定・登録を行った。
- b. 第 29 回超音波検査士資格更新を実施し、更新者 6 名、猶予 3 名の認定・登録及び第 30 回超音波検査士資格更新を実施し、更新者 2615 名、猶予 44 名の認定・登録を行った。
- c. 第 8 回超音波指導検査士(腹部領域)認定試験を実施し、合格者 3 名の超音波指導検査士(腹部領域)の認定・登録を行った。
- d. 第 3 回超音波指導検査士(腹部領域)資格更新を実施し、更新者 2 名の認定・登録を行った。
- e. 超音波検査士の育成を図った。
- f. 「超音波指導検査士(腹部領域)認定試験のための講習会」を実施した。

[収益事業 資格認定事業]

#### 11. 超音波工学フェロー認定審査委員会 (委員長 椎名 毅)

- a. 第 21 回超音波工学フェローの公募を実施し、申請者 4 名に対して認定審査を行い、適格と判定した 4 名を、令和元年 10 月 1 日付で認定・登録を行い、本会ウェブサイト公示した。
- b. 第 16 回超音波工学フェロー資格更新を実施し、認定審査を行い、適格と判定した更新者 50 名の認定・登録を行い、本会ウェブサイト公示した。
- c. 超音波工学フェロー制度の活性化の議論を行い、対象者となる可能性のある会員への周知を行った。

[公益目的事業 研究開発促進事業]

#### 12. 研究開発促進委員会 (委員長 畠 二郎)

- a. 令和元年度研究開発班設置申請 2 件の審査を行い、2 件(継続 2 件)の開発班の設置を認可した。
- b. 令和元年度研究会設置申請 4 件の審査を行い、以下の 4 件(継続 1 件・新規 3 件)の研究会の設置を認可した。
  - 1) 基礎技術研究会
  - 2) 超音波分子診断治療研究会
  - 3) 光超音波画像研究会
  - 4) 頸部リンパ節超音波研究会
- c. 令和 2 年度研究会設置申請に関する会告を公示し、応募書類を審査した。(超音波医学第 46 巻 5 号)
- d. 第 92 回学術集會会期中に「研究成果発表会」を実施した。

[法人事業/法人管理関係]

#### 13. 倫理委員会 (委員長 丸山 紀史)

倫理に関する事項について検討を行った。

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業]

#### 14. 学術集会委員会 (委員長 尾辻 豊)

- a. 学術集會の在り方を考えて、その運営が円滑に行われるように委員会の体制を検討した。

- b. 役員及び代議員に第 95 回学術集會會長候補者について自薦・他薦の依頼を行い、推薦に基づき、理事会で廣岡芳樹氏を第 95 回学術集會會長に決定した。

[公益目的事業 学会誌等出版事業]

**15. 広報委員会 (委員長 千葉 裕)**

- a. 本会の学会情報を学会誌及びインターネット等により広報を行った。
- b. 本会ウェブサイト全般についての管理を行い、利便性の向上を図った。

[公益目的事業 学術集會・講習会等事業]

**16. 地方会委員会 (委員長 菊池 昭彦)**

- a. 地方会に関する事業の発展、充実及び円滑な運営の促進
  - 1) 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行った。
  - 2) 地方会交付金の算定を行い、交付した。
  - 3) 地方会学術集會に関して助言を行った。
  - 4) 地方会講習会に関して助言を行った。
  - 5) 学術集會委員会と共同して正会員増加に関する検討を行った。
- b. 地方会委員会会議及び地方会運営委員長会議を開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行った。
- c. 地方会を通じて正会員数の増加を推進した。
- d. 各地方会学術集會演題受付ウェブシステムを利用し、抄録のウェブ掲載を行った。

[法人事業/法人管理関係]

**17. 利益相反委員会 (委員長 田中 守)**

- a. 学会員の利益相反に関するマネージメントを行った。
- b. 利益相反に関する指針の改訂を行った。

[会員相互補助事業]

**18. 男女共同参画委員会 (委員長 工藤 正俊)**

- a. 第 92 回学術集會会期中に男女共同参画シンポジウムを開催した。
- b. 男女共同参画に関するアンケートを実施した。
- c. 第 92 回学術集會会期中に男女共同参画シンポジウムを企画した。
- d. 女性超音波工学フェローとの懇談会を開き、意見交換を行った。
- e. 日本医師会女性医師支援担当者連絡会に参加した。

[公益目的事業 学術集會・講習会等事業]

**19. 超音波画像のデータベース構築・人工知能診断開発推進委員会 (次世代超音波画像データベース構築委員会 (令和元年 11 月 25 日名称変更)) (委員長 工藤 正俊)**

臨床研究等の ICT 基盤構築に関する調査研究事業として、次世代に向けた超音波画像データベースを構築するための調査研究に取り組んだ。

[法人事業/法人管理関係]

**20. 会員資格審査関係 (担当理事 木原 康樹 山口 匡)**

会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記の認定の審査を行った。

- 1) 入会希望者及び退会希望者の審査
- 2) 会員資格喪失該当者の審査
- 3) 会員種別変更希望者の審査
- 4) 休会希望者の審査

[法人事業/法人管理関係]

**21. 規約関係 (担当理事 大手 信之 尾辻 豊)**

理事長の諮問を受けて、学会運営に関する諸規約の制定・改正等について逐次審議し、作案し、以下の定款・諸規約の制定・改正等を行った。

- a. 定款の変更 令和元年 5 月 25 日施行
- b. 規則
  - 1) 制定  
令和 2 年 2 月 28 日施行  
・公益社団法人日本超音波医学会経理規則

## 2)改正

平成 31 年 4 月 24 日施行

- ・公益社団法人日本超音波医学会認定超音波専門医制度規則
- ・公益社団法人日本超音波医学会認定超音波指導医の推薦・認定に関する内規
- ・公益社団法人日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設及び研修施設群の指定に関する内規
- ・公益社団法人日本超音波医学会認定超音波検査士資格更新実施内規
- ・公益社団法人日本超音波医学会認定超音波指導検査士資格更新実施内規

令和元年 5 月 25 日施行

- ・公益社団法人日本超音波医学会役員代議員選任規則
- ・公益社団法人日本超音波医学会役員代議員選任規則実施細則

令和元年 8 月 23 日施行

- ・公益社団法人日本超音波医学会奨学制度（JSUMfellowship）実施要領
- ・公益社団法人日本超音波医学会認定超音波工学フェロー制度規則
- ・公益社団法人日本超音波医学会認定超音波工学フェロー資格更新実施内規

令和元年 11 月 25 日施行

- ・公益社団法人日本超音波医学会奨学制度（JSUMfellowship）実施要領
- ・公益社団法人日本超音波医学会奨励賞選考内規

令和 2 年 1 月 17 日施行

- ・公益社団法人日本超音波医学会職員給与規則
- ・公益社団法人日本超音波医学会認定超音波指導検査士制度規則
- ・公益社団法人日本超音波医学会職員の住居手当に関する細則

## 3)廃止

令和 2 年 2 月 28 日施行

- ・公益社団法人日本超音波医学会会計規則
- ・公益社団法人日本超音波医学会会計処理規則

[会員相互補助事業]

### IV 日本医学会関係(担当理事 工藤 正俊)

1. 日本医学会シンポジウムに協力した。
2. 令和元年度日本医学会分科会用語委員会に出席した。

### [事業報告の附属明細書]

記載すべき事項はない。

## 令和元年度決算報告書

1. 財務諸表・附属明細書・財産目録
  - 1.1 貸借対照表  
付. 貸借対照表 内訳表
  - 1.2 正味財産増減計算書  
付. 正味財産増減計算書 内訳表
  - 1.3 財務諸表に対する注記
  - 1.4 附属明細書
  - 1.5 財産目録
2. 収支計算書(資金収支計算ベース)
  - 2.1 収支計算書(資金収支計算ベース)
  - 2.2 収支計算書(資金収支計算ベース)に対する注記

## 1. 1

## 貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1.流動資産			
現金預金	122,163,573	92,620,960	29,542,613
未収入金	343,433	397,995	△ 54,562
前払金	11,075,805	10,295,880	779,925
仮払金	5,455,900	5,187,955	267,945
流動資産 合計	139,038,711	108,502,790	30,535,921
2.固定資産			
(1)基本財産			
基本財産	36,000,000	36,000,000	0
基本財産 合計	36,000,000	36,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当預金	42,086,010	26,086,010	16,000,000
減価償却引当預金	2,500,000	2,500,000	0
国際交流基金	4,500,000	4,500,000	0
システム関連基金	5,000,000	3,000,000	2,000,000
事務所整備基金	30,000,000	30,000,000	0
学術奨励基金	81,600,000	79,300,000	2,300,000
松尾賞基金	700,000	1,000,000	△ 300,000
伊東賞基金	16,536,631	17,136,631	△ 600,000
特定資産 合計	182,922,641	163,522,641	19,400,000
(3)その他固定資産			
建物付属設備	110,718	147,624	△ 36,906
什器備品	278,797	405,693	△ 126,896
敷金	15,176,700	15,176,700	0
その他固定資産 合計	15,566,215	15,730,017	△ 163,802
固定資産合計	234,488,856	215,252,658	19,236,198
資産合計	373,527,567	323,755,448	49,772,119
<b>II 負債の部</b>			
1.流動負債			
未払金	3,843,733	4,296,504	△ 452,771
前受会費	1,016,940	804,500	212,440
前受金	2,714,000	1,007,000	1,707,000
預り金	160,262	174,591	△ 14,329
会費仮受金	2,641,000	3,111,500	△ 470,500
仮受金	216,235	209,427	6,808
賞与引当金	4,452,705	4,373,871	78,834
流動負債合計	15,044,875	13,977,393	1,067,482
2.固定負債			
退職給付引当金	77,558,540	73,426,080	4,132,460
固定負債合計	77,558,540	73,426,080	4,132,460
負債合計	92,603,415	87,403,473	5,199,942
<b>III 正味財産の部</b>			
1.指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2.一般正味財産	280,924,152	236,351,975	44,572,177
(うち基本財産への充当額)	( 36,000,000 )	( 36,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 140,836,631 )	( 137,436,631 )	( 3,400,000 )
正味財産合計	280,924,152	236,351,975	44,572,177
負債及び正味財産合計	373,527,567	323,755,448	49,772,119

1. 1-付  
貸借対照表 内訳表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科目	公益目的事業	収益事業等	法人会計	内部取引消去	合計
<b>I 資産の部</b>					
1.流動資産					
現金預金	47,473,360	2,044,950	72,645,263		122,163,573
未収入金	35,628	0	307,805		343,433
前払金	5,000,000	5,898,805	177,000		11,075,805
仮払金	5,455,900	0	0		5,455,900
流動資産 合計	57,964,888	7,943,755	73,130,068	0	139,038,711
2.固定資産					
(1)基本財産					
基本財産	0	0	36,000,000	0	36,000,000
基本財産 合計	0	0	36,000,000	0	36,000,000
(2)特定資産					
退職給付引当預金	0	0	42,086,010	0	42,086,010
減価償却引当預金	0	0	2,500,000	0	2,500,000
国際交流基金	4,500,000	0	0	0	4,500,000
システム関連基金	5,000,000	0	0	0	5,000,000
事務所整備基金	0	0	30,000,000	0	30,000,000
学術奨励基金	81,600,000	0	0	0	81,600,000
松尾賞基金	700,000	0	0	0	700,000
研究開発班設置基金	0	0	0	0	0
伊東賞基金	16,536,631	0	0	0	16,536,631
特定資産 合計	108,336,631	0	74,586,010	0	182,922,641
(3)その他固定資産					
建物付属設備	52,037	22,975	35,706	0	110,718
什器備品	131,035	57,853	89,909	0	278,797
敷金	7,133,049	3,111,224	4,932,427	0	15,176,700
その他固定資産 合計	7,316,121	3,192,052	5,058,042	0	15,566,215
固定資産合計	115,652,752	3,192,052	115,644,052	0	234,488,856
資産合計	173,617,640	11,135,807	188,774,120	0	373,527,567
<b>II 負債の部</b>					
1.流動負債					
未払金	817,736	13,860	3,012,137	0	3,843,733
前受会費	0	0	1,016,940	0	1,016,940
前受金	0	2,714,000	0	0	2,714,000
預り金	0	0	160,262	0	160,262
会費仮受金	0	0	2,641,000	0	2,641,000
仮受金	0	0	216,235	0	216,235
賞与引当金	0	0	4,452,705	0	4,452,705
流動負債合計	817,736	2,727,860	11,499,279	0	15,044,875
2.固定負債					
退職給付引当金	0	0	77,558,540	0	77,558,540
固定負債合計	0	0	77,558,540	0	77,558,540
負債合計	817,736	2,727,860	89,057,819	0	92,603,415
<b>III 正味財産の部</b>					
1.指定正味財産	0	0	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
2.一般正味財産	172,799,904	8,407,947	99,716,301	0	280,924,152
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 36,000,000 )	( 0 )	( 36,000,000 )
(うち特定資産への充当額)	( 108,336,631 )	( 0 )	( 32,500,000 )	( 0 )	( 140,836,631 )
正味財産合計	172,799,904	8,407,947	99,716,301	0	280,924,152
負債及び正味財産合計	173,617,640	11,135,807	188,774,120	0	373,527,567

## 1. 2

## 正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
基本財産運用収入	3,600	3,600	0	
特定資産運用収入	2,564	2,893	△ 329	
入会金収入	1,900,000	1,355,000	545,000	
会費収入	157,960,000	155,400,020	2,559,980	
事業収入	293,820,367	259,708,674	34,111,693	
参加費収入	( 121,727,490 )	( 93,412,000 )	( 28,315,490 )	
共催セミナー収入ほか	( 86,584,350 )	( 85,211,322 )	( 1,373,028 )	
広告収入	( 8,310,800 )	( 8,918,688 )	( △ 607,888 )	
試験・新規認定収入	( 49,727,000 )	( 50,311,500 )	( △ 584,500 )	
更新認定収入	( 21,022,500 )	( 16,896,500 )	( 4,126,000 )	
学会誌別刷収入	( 133,910 )	( 100,332 )	( 33,578 )	
資料頒布収入	( 4,376,336 )	( 4,290,880 )	( 85,456 )	
著作権・印税収入	( 1,937,981 )	( 567,452 )	( 1,370,529 )	
寄付金収入	3,555,000	3,003,000	552,000	
補助金・助成金収入	110,000	3,674,500	△ 3,564,500	
受取利息収入	15,052	14,398	654	
雑収入	614,138	131,633	482,505	
経常収益計	457,980,721	423,293,718	34,687,003	
(2)経常費用				
事業費	369,133,875	358,227,707	10,906,168	
学会誌出版費	( 32,949,064 )	( 37,010,374 )	( △ 4,061,310 )	
発送経費	( 8,505,973 )	( 9,807,816 )	( △ 1,301,843 )	
校正費	( 2,568,425 )	( 2,445,042 )	( 123,383 )	
顕彰関係費	( 3,520,000 )	( 3,590,000 )	( △ 70,000 )	
奨学金	( 1,200,000 )	( 3,600,000 )	( △ 2,400,000 )	
給与手当	( 32,436,716 )	( 31,933,176 )	( 503,540 )	
臨時雇い賃金	( 19,361,923 )	( 8,748,656 )	( 10,613,267 )	
法定福利費	( 5,946,021 )	( 5,707,168 )	( 238,853 )	
職員交通費	( 1,026,774 )	( 1,010,087 )	( 16,687 )	
会計顧問料	( 467,500 )	( 540,000 )	( △ 72,500 )	
事務所賃借料	( 13,640,867 )	( 13,396,623 )	( 244,244 )	
文具消耗品費	( 6,940,216 )	( 10,536,897 )	( △ 3,596,681 )	
光熱水料	( 853,927 )	( 800,416 )	( 53,511 )	
会場・会議費	( 133,156,565 )	( 110,005,466 )	( 23,151,099 )	学術集會会場費等
印刷費	( 16,960,936 )	( 25,021,671 )	( △ 8,060,735 )	
通信・運搬費	( 9,357,106 )	( 9,521,031 )	( △ 163,925 )	
旅費・交通費	( 9,290,752 )	( 11,413,814 )	( △ 2,123,062 )	
頒布資料印刷費	( 2,706,480 )	( 348,360 )	( 2,358,120 )	
WFUMB機関誌購入費	( 194,990 )	( 896,111 )	( △ 701,121 )	
各種保険料	( 0 )	( 64,800 )	( △ 64,800 )	
払込手数料	( 267,815 )	( 136,080 )	( 131,735 )	
システム運営費	( 12,522,788 )	( 6,415,454 )	( 6,107,334 )	
租税公課	( 4,368,027 )	( 3,657,621 )	( 710,406 )	
業務委託費	( 19,793,190 )	( 37,078,205 )	( △ 17,285,015 )	
会費・分担金	( 3,166,250 )	( 3,164,972 )	( 1,278 )	AFSUMB分担金を含む
関連行事費	( 12,180,994 )	( 5,631,399 )	( 6,549,595 )	
諸謝金	( 9,615,227 )	( 9,673,283 )	( △ 58,056 )	
雑費	( 143,944 )	( 30,550 )	( 113,394 )	
賞与引当金繰入額	( 3,050,103 )	( 2,974,233 )	( 75,870 )	
退職給付費用	( 2,830,736 )	( 2,958,653 )	( △ 127,917 )	
減価償却費	( 110,566 )	( 109,749 )	( 817 )	
管理費	44,274,669	42,634,199	1,640,470	
給与手当	( 15,115,390 )	( 15,067,045 )	( 48,345 )	
会計顧問料	( 864,000 )	( 864,000 )	( 0 )	
福利厚生費	( 464,968 )	( 467,793 )	( △ 2,825 )	
法定福利費	( 2,734,302 )	( 2,685,726 )	( 48,576 )	
職員交通費	( 472,166 )	( 475,333 )	( △ 3,167 )	
事務所賃借料	( 6,272,807 )	( 6,304,293 )	( △ 31,486 )	
事務用機器賃借料	( 917,076 )	( 916,920 )	( 156 )	
備品費	( 172,100 )	( 167,767 )	( 4,333 )	
文具消耗品費	( 302,195 )	( 356,136 )	( △ 53,941 )	
光熱水料	( 392,682 )	( 376,667 )	( 16,015 )	

科目	当年度	前年度	増減	備考
事務OA化費	( 837,566 )	( 446,143 )	( 391,423 )	
会場・会議費	( 438,077 )	( 336,018 )	( 102,059 )	
印刷費	( 1,626,302 )	( 1,411,403 )	( 214,899 )	
通信・運搬費	( 1,732,269 )	( 1,081,106 )	( 651,163 )	
旅費交通費	( 2,619,216 )	( 2,478,165 )	( 141,051 )	
租税公課	( 2,792,673 )	( 2,338,479 )	( 454,194 )	
払込手数料	( 1,966,154 )	( 1,861,635 )	( 104,519 )	
システム運営費	( 170,726 )	( 444,960 )	△ 274,234	
会費・分担金	( 1,068,900 )	( 1,077,250 )	△ 8,350	
各種保険料	( 160,450 )	( 160,450 )	( 0 )	
業務委託費	( 0 )	( 108,000 )	△ 108,000	
雑費	( 397,088 )	( 362,910 )	( 34,178 )	
賞与引当金繰入額	( 1,402,602 )	( 1,399,638 )	( 2,964 )	
退職給付費用	( 1,301,724 )	( 1,392,307 )	△ 90,583	
減価償却費	( 53,236 )	( 54,055 )	△ 819	
経常費用計	413,408,544	400,861,906	12,546,638	
当期経常増減額	44,572,177	22,431,812	22,140,365	
当期一般正味財産増減額	44,572,177	22,431,812	22,140,365	
一般正味財産期首残高	236,351,975	213,920,163	22,431,812	
一般正味財産期末残高	280,924,152	236,351,975	44,572,177	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	280,924,152	236,351,975	44,572,177	

## 1. 2-1付

## 正味財産増減計算書 内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

	公益目的事業会計	収益事業等会計		収益事業等会計 小計	法人会計	内部取引控除	合計
		資格認定事業	会員相互補助事業				
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用収入	0	0	0	0	3,600		3,600
特定資産運用収入	2,564	0	0	0	0		2,564
入会金収入	950,000	0	0	0	950,000		1,900,000
会費収入	78,980,000	0	0	0	78,980,000		157,960,000
参加費収入	121,727,490	0	0	0	0		121,727,490
共催セミナー収入ほか	86,584,350	0	0	0	0		86,584,350
広告収入	8,310,800	0	0	0	0		8,310,800
試験・新規認定収入	0	49,727,000	0	49,727,000	0		49,727,000
更新認定収入	0	21,022,500	0	21,022,500	0		21,022,500
学会誌別刷収入	133,910	0	0	0	0		133,910
資料頒布収入	4,376,336	0	0	0	0		4,376,336
著作権・印税収入	1,937,981	0	0	0	0		1,937,981
寄付金収入	3,555,000	0	0	0	0		3,555,000
補助金・助成金収入	110,000	0	0	0	0		110,000
受取利息収入	278	0	0	0	14,774		15,052
雑収入	614,138	0	0	0	0		614,138
経常収益計	307,282,847	70,749,500	0	70,749,500	79,948,374	0	457,980,721
(2) 経常費用							
事業費							
学会誌出版費	32,949,064	0	0	0	0		32,949,064
発送経費	8,505,973	0	0	0	0		8,505,973
校正費	2,568,425	0	0	0	0		2,568,425
表彰関係費	3,520,000	0	0	0	0		3,520,000
奨学金	1,200,000	0	0	0	0		1,200,000
給与手当	22,463,333	8,727,570	1,245,813	9,973,383	0		32,436,716
臨時雇い賃金	17,676,209	1,685,714	0	1,685,714	0		19,361,923
会計顧問料	467,500	0	0	0	0		467,500
法定福利費	4,166,555	1,562,458	217,008	1,779,466	0		5,946,021
職員交通費	719,491	269,809	37,474	307,283	0		1,026,774
事務所賃借料	9,558,564	3,584,461	497,842	4,082,303	0		13,640,867
文具消耗品費	6,842,905	97,311	0	97,311	0		6,940,216
光熱水料	598,372	224,390	31,165	255,555	0		853,927
会場・会議費	126,414,440	6,706,378	35,747	6,742,125	0		133,156,565
印刷費	13,848,640	3,112,296	0	3,112,296	0		16,960,936
通信・運搬費	4,302,108	4,971,428	83,570	5,054,998	0		9,357,106
旅費・交通費	6,209,640	3,049,132	31,980	3,081,112	0		9,290,752
頒布資料印刷費	2,706,480	0	0	0	0		2,706,480
WFUMB機関誌購入費	194,990	0	0	0	0		194,990
各種保険料	0	0	0	0	0		0
払込手数料	267,815	0	0	0	0		267,815
システム運営費	9,869,551	2,653,237	0	2,653,237	0		12,522,788
租税公課	3,222,315	1,145,712	0	1,145,712	0		4,368,027
業務委託費	19,313,310	479,880	0	479,880	0		19,793,190
会費・分担金	3,166,250	0	0	0	0		3,166,250
関連行事費	12,180,994	0	0	0	0		12,180,994
諸謝金	6,569,302	2,968,500	77,425	3,045,925	0		9,615,227
雑費	100,644	43,300	0	43,300	0		143,944
賞与引当金繰入額	2,137,298	801,487	111,318	912,805	0		3,050,103
退職給付費用	1,983,581	743,843	103,312	847,155	0		2,830,736
減価償却費	76,987	29,484	4,095	33,579	0		110,566
事業費計	323,800,736	42,856,390	2,476,749	45,333,139	0	0	369,133,875
管理費							
給与手当					15,115,390		15,115,390
会計顧問料					864,000		864,000
福利厚生費					464,968		464,968
法定福利費					2,734,302		2,734,302
職員交通費					472,166		472,166
事務所賃借料					6,272,807		6,272,807
事務用機器賃借料					917,076		917,076
備品費					172,100		172,100
文具消耗品費					302,195		302,195
光熱水料					392,682		392,682
事務OA化費					837,566		837,566
会場・会議費					438,077		438,077
印刷費					1,626,302		1,626,302
通信・運搬費					1,732,269		1,732,269
旅費交通費					2,619,216		2,619,216
租税公課					2,792,673		2,792,673
払込手数料					1,966,154		1,966,154
システム運営費					170,726		170,726
会費・分担金					1,068,900		1,068,900
各種保険料					160,450		160,450
業務委託費					0		0
雑費					397,088		397,088
賞与引当金繰入額					1,402,602		1,402,602
退職給付費用					1,301,724		1,301,724
減価償却費					53,236		53,236
管理費計	0	0	0	0	44,274,669	0	44,274,669
経常費用計	323,800,736	42,856,390	2,476,749	45,333,139	44,274,669	0	413,408,544
当期経常増減額	△ 16,517,889	27,893,110	△ 2,476,749	25,416,361	35,673,705	0	44,572,177
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 16,517,889			25,416,361	35,673,705	0	44,572,177
他会計振替額	24,686,598			△ 28,649,984	3,963,386	0	0
当期正味財産増減額	8,168,709			△ 3,233,623	39,637,091	0	44,572,177
正味財産期首残高	164,631,195			11,641,570	60,079,210	0	236,351,975
正味財産期末残高	172,799,904			8,407,947	99,716,301	0	280,924,152
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0			0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0			0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0			0	0	0	0
II 正味財産期末残高	172,799,904			8,407,947	99,716,301	0	280,924,152

1. 3

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
法人税法に規定する定額法による。
- (2) 引当金の計上基準  
① 退職給付引当金  
職員に対する退職給与の支給に備えるため、法人都合による期末要支給額を計上している。  
② 賞与引当金  
職員に支給する賞与の支出に充当するため、支給見込額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理  
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減とその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	備考
基本財産					
定期預金	36,000,000	0	0	36,000,000	
小計	36,000,000	0	0	36,000,000	
特定資産					
退職給付引当預金	26,086,010	16,000,000		42,086,010	
減価償却引当預金	2,500,000			2,500,000	
国際交流基金	4,500,000			4,500,000	
システム関連基金	3,000,000	2,000,000		5,000,000	
事務所整備基金	30,000,000			30,000,000	
学術奨励基金	79,300,000	2,300,000		81,600,000	
松尾賞基金	1,000,000		300,000	700,000	
伊東賞基金	17,136,631		600,000	16,536,631	
小計	163,522,641	20,300,000	900,000	182,922,641	
合計	199,522,641	20,300,000	900,000	218,922,641	

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	36,000,000	0	36,000,000	0
小計	36,000,000	0	36,000,000	0
特定資産				
退職給付引当預金	42,086,010	-	-	42,086,010
減価償却引当預金	2,500,000	-	2,500,000	-
国際交流基金	4,500,000	-	4,500,000	-
システム関連基金	5,000,000	-	5,000,000	-
事務所整備基金	30,000,000	-	30,000,000	-
学術奨励基金	81,600,000	-	81,600,000	-
松尾賞基金	700,000	-	700,000	-
伊東賞基金	16,536,631	-	16,536,631	-
小計	182,922,641	0	140,836,631	42,086,010
合計	218,922,641	0	176,836,631	42,086,010

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	3,690,600	3,579,882	110,718
什器備品	5,770,788	5,491,991	278,797
合計	9,461,388	9,071,873	389,515

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	備考
学術的な会議助成	山形大学	0	70,000	70,000	0	注
助成金	香川大学医学部医 学科同窓会讃樹会	0	40,000	40,000	0	注
合計		0	110,000	110,000	0	

注) 当該事業年度内に目的たる支出が完了するため、貸借対照表上の記載はありません。

1. 4

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

「公益法人会計基準」の運用指針(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)に定める附属明細書の記載上の留意事項に従い、財務諸表の注記3及び4に記載しているので、内容の記載を省略している。

2. 引当金の明細

引当金の明細は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	73,426,080	4,132,460			77,558,540
賞与引当金	4,373,871	4,452,705	4,373,871		4,452,705

以上

## 1.5

## 財産目録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手許保管	運転資金	58,462
預金	りそな銀行 本郷支店	同上	67,579,966
	りそな銀行 本郷支店	同上	2,003,566
	りそな銀行 本郷支店	同上	29,876,178
	三井住友信託銀行 芝営業部	同上	3,600
	三井住友銀行 神田支店	同上	331,065
	みずほ銀行 本郷支店	同上	3,249,621
	三菱UFJ銀行 本郷支店	同上	7,924,327
	三菱UFJ銀行 春日町支店	同上	1,070,303
郵便振替	00130-8-93294	同上	10,066,485
未収入金	会費に関する未収額	法人会計の未収分	307,805
	e-learning配信に関する未収額	(公益目的事業)出版事業の未収分	35,628
前払金	保険料に関する前払い	法人会計の前払分	105,000
	会費・分担金に関する前払い	法人会計の前払分	72,000
	学術集会補助金前払い	(公益目的事業)学術集会事業の前払い分	5,000,000
	試験会場費に関する前払い	(収益事業等)認定事業の前払分	5,898,805
仮払金	学術集会貸付金等	(公益目的事業)学術集会事業等の仮払い分	5,455,900
流動資産 合計			139,038,711
(固定資産)			
基本財産			
預金	三井住友信託銀行 芝営業部(定期預金)	公益目的事業に必要なその他の活動の用に供する財産。運用益を管理費に充当	36,000,000
特定資産			
退職給付引当預金	りそな銀行 本郷支店(定期預金)	(法人会計)退職給付引当金に対応する積立資産	21,186,010
"	三井住友銀行 神田支店(定期預金)	同上	4,900,000
"	三菱UFJ銀行 神田支店(定期預金)	同上	16,000,000
減価償却引当預金	りそな銀行 本郷支店(定期預金)	法人の管理運営の用に供するために保有している積立資産	2,500,000
国際交流基金	三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金)	(公益目的事業)国際交流事業の基金	4,500,000
システム関連基金	りそな銀行 本郷支店(定期預金)	(公益目的事業)広報関連事業の基金	5,000,000
事務所整備基金	三菱UFJ銀行 春日町支店(定期預金)	法人の管理運営の用に供するために保有している積立資産	30,000,000
学術奨励基金	みずほ銀行 本郷支店(定期預金)	(公益目的事業)調査研究及び教育・啓蒙に関する事業の基金	65,500,000
"	三菱UFJ銀行 本郷支店(定期預金)	同上	16,100,000
松尾賞基金	ゆうちょ銀行(定期貯金)	(公益目的事業)顕彰事業の基金	700,000
伊東賞基金	みずほ銀行 本郷支店(定期預金)	(公益目的事業)顕彰事業の基金	16,536,631
その他固定資産			
建物付属設備	事務所に付随する設備	共用財産。うち47.0%は公益目的保有財産として公益目的事業に供し、20.5%は収益事業他に供し、32.5%は管理運営に供している	110,718
什器備品	会議テーブル、椅子、音響システムほか	同上	278,796
什器備品	計測機器	(公益事業)調査研究及び教育・啓蒙に関する事業に供している	1
敷金	事務所借室 お茶の水センタービル	同上	15,176,700
固定資産 合計			234,488,856
資産 合計			373,527,567
(流動負債)			
未払金	未払消費税	(法人会計)消費税未払分	3,000,000
	文具消耗品費	(法人会計)文具消耗品未払金	12,137
	学会誌出版費用	(公益目的事業)出版事業に関する未払金	554,400
	派遣社員人件費	(公益目的事業)認定事業に関する未払金	13,860
	必修講習会文具消耗品費用	(公益目的事業)教育・啓蒙事業に関する未払金	173,336
	地方会学術集会賞金	(公益目的事業)学術集会事業に関する未払金	90,000
前受会費	次年度以降会費受入額	法人の運営管理業務に関連した前受金	1,016,940
前受金	試験・更新に関する受入額	(収益事業等)認定事業の前受金	2,714,000
預り金	雇用保険に関する預り金	法人の運営管理業務に関連した預り金	160,262
会費仮受金	新規入会金・初年度会費等に関する受入額	法人の運営管理業務に関連した仮受金	2,641,000
仮受金	不明入金等	法人会計の仮受分	216,235
賞与引当金	令和2年6月の職員賞与支給の見込み額	各事業と法人の管理運営業務に関連した引当金	4,452,705
流動負債 合計			15,044,875
(固定負債)			
退職給付引当金	令和2年度末日における法人都合による期末要支給額	各事業と法人の管理運営業務に関連した引当金(簡便法)	77,558,540
固定負債 合計			77,558,540
負債 合計			92,603,415
正味財産			280,924,152

## 2. 1

収支計算書(資金収支計算ベース)  
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	3,600	3,600	0	
入会金収入	1,290,000	1,900,000	△ 610,000	
会費収入	153,360,000	157,960,000	△ 4,600,000	
正会員会費	( 86,060,000 )	( 86,658,000 )	( △ 598,000 )	
シニア会員会費	( 10,560,000 )	( 10,128,000 )	( △ 432,000 )	
準会員会費	( 54,950,000 )	( 59,391,000 )	( △ 4,441,000 )	
学生会員会費	( 70,000 )	( 63,000 )	( 7,000 )	
賛助会員会費	( 1,720,000 )	( 1,720,000 )	( 0 )	
学術集会関係	145,398,500	154,820,637	△ 9,422,137	92回学術集会(開催地:東京)
参加費収入	( 67,226,500 )	( 80,579,150 )	( △ 13,352,650 )	
共催セミナー収入ほか	( 73,235,200 )	( 70,043,400 )	( 3,191,800 )	
広告収入	( 2,386,800 )	( 1,395,360 )	( 991,440 )	
寄付金収入	( 2,550,000 )	( 2,250,000 )	( 300,000 )	
受取利息	( 0 )	( 57 )	( △ 57 )	
雑収入	( 0 )	( 552,670 )	( △ 552,670 )	
地方会関係	46,065,000	47,581,359	△ 1,516,359	
参加費収入	( 17,560,000 )	( 23,633,000 )	( △ 6,073,000 )	
共催セミナー収入ほか	( 18,816,000 )	( 16,540,950 )	( 2,275,050 )	
広告収入	( 5,049,000 )	( 5,829,200 )	( △ 780,200 )	
資料頒布収入	( 0 )	( 161,000 )	( △ 161,000 )	
寄付金収入	( 4,560,000 )	( 1,305,000 )	( 3,255,000 )	
補助金・助成金収入	( 30,000 )	( 110,000 )	( △ 80,000 )	
受取利息	( 0 )	( 209 )	( △ 209 )	
雑収入	( 50,000 )	( 2,000 )	( 48,000 )	
編集委員会	1,490,000	3,151,260	△ 1,661,260	
学会誌別刷収入	( 90,000 )	( 133,910 )	( △ 43,910 )	
広告収入	( 1,000,000 )	( 1,086,240 )	( △ 86,240 )	
著作権・印税収入	( 200,000 )	( 1,607,125 )	( △ 1,407,125 )	著作権使用料 抄録集(CD-ROM)頒布代ほか
資料頒布収入	( 200,000 )	( 323,985 )	( △ 123,985 )	
研究開発班関係	0	3,873	△ 3,873	
受取利息	( 0 )	( 7 )	( △ 7 )	
雑収入	( 0 )	( 3,866 )	( △ 3,866 )	自己資金持ち出し
研究会関係	0	55,607	△ 55,607	
受取利息	( 0 )	( 5 )	( △ 5 )	
雑収入	( 0 )	( 55,602 )	( △ 55,602 )	自己資金持ち出し
顕彰委員会	1,800	1,813	△ 13	
特定資産運用収入	( 1,800 )	( 1,813 )	( △ 13 )	
教育セッション関係	3,060,000	3,537,000	△ 477,000	
参加費収入	( 3,000,000 )	( 3,510,000 )	( △ 510,000 )	
資料頒布収入	( 60,000 )	( 27,000 )	( 33,000 )	Web配信/DVD
講習会関係	9,760,000	9,761,200	△ 1,200	
参加費収入	( 9,460,000 )	( 9,596,000 )	( △ 136,000 )	
資料頒布収入	( 300,000 )	( 165,200 )	( 134,800 )	Web配信/DVD
小規模講習会関係	210,000	232,671	△ 22,671	
参加費収入	( 210,000 )	( 168,000 )	( 42,000 )	
資料頒布収入	( 0 )	( 64,671 )	( △ 64,671 )	クリアフォルダ
必修講習会	11,062,200	5,559,580	5,502,620	
参加費収入	( 2,343,000 )	( 4,241,340 )	( △ 1,898,340 )	
資料頒布収入	( 8,719,200 )	( 1,318,240 )	( 7,400,960 )	
専門医制度委員会	10,296,800	9,903,240	393,560	
試験・新規認定収入	( 6,425,500 )	( 5,510,000 )	( 915,500 )	受験料/認定料
更新認定収入	( 2,545,000 )	( 2,752,000 )	( △ 207,000 )	
資料頒布収入	( 1,326,300 )	( 1,641,240 )	( △ 314,940 )	専門医認定試験問題集
工学フェロ-認定審査委員会	107,000	136,000	△ 29,000	
新規認定収入	( 29,500 )	( 7,000 )	( 22,500 )	
更新認定収入	( 77,500 )	( 129,000 )	( △ 51,500 )	
検査士制度委員会	66,374,600	62,682,356	3,692,244	
試験・新規認定収入	( 47,178,000 )	( 44,210,000 )	( 2,968,000 )	受験料/認定料
更新認定収入	( 18,860,000 )	( 18,141,500 )	( 718,500 )	
著作権・印税収入	( 336,600 )	( 330,856 )	( 5,744 )	検査士問題集印税
国際交流委員会	450	451	△ 1	
特定資産運用収入	( 450 )	( 451 )	( △ 1 )	
WFUMB機関誌関係	775,000	675,000	100,000	@25,000円
広報委員会	300	300	0	
特定資産運用収入	( 300 )	( 300 )	( 0 )	
受取利息収入	13,500	14,774	△ 1,274	
事業活動収入計 (A)	449,268,750	457,980,721	△ 8,711,971	

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
2. 事業活動支出				
事業費				
学術集会関係	145,773,500	140,063,915	5,709,585	学術集会補助金:2,500,000円
臨時雇い賃金	( 14,671,000 )	( 11,333,957 )	( 3,337,043 )	
会計顧問料	( 550,000 )	( 467,500 )	( 82,500 )	
文具消耗品費	( 117,300 )	( 63,342 )	( 53,958 )	
会場・会議費	( 91,847,700 )	( 92,634,142 )	( △ 786,442 )	
印刷費	( 8,075,000 )	( 6,111,957 )	( 1,963,043 )	
通信・運搬費	( 850,000 )	( 923,354 )	( △ 73,354 )	
旅費交通費	( 4,675,000 )	( 957,420 )	( 3,717,580 )	
払込手数料	( 0 )	( 8,199 )	( △ 8,199 )	
システム運営費	( 2,800,000 )	( 2,981,102 )	( △ 181,102 )	
業務委託費	( 10,670,000 )	( 10,952,052 )	( △ 282,052 )	
関連行事費	( 9,817,500 )	( 12,180,994 )	( △ 2,363,494 )	
諸謝金	( 1,700,000 )	( 1,449,896 )	( 250,104 )	
学術集会(本部)・委員会	554,000	272,435	281,565	
臨時雇い賃金	( 100,000 )	( 148,238 )	( △ 48,238 )	
会場・会議費	( 421,000 )	( 73,591 )	( 347,409 )	
通信・運搬費	( 23,000 )	( 41,040 )	( △ 18,040 )	
旅費交通費	( 10,000 )	( 9,566 )	( 434 )	東京
地方会関係	60,814,000	55,734,573	5,079,427	
臨時雇い賃金	( 6,169,000 )	( 5,862,598 )	( 306,402 )	
文具消耗品費	( 2,057,000 )	( 4,680,886 )	( △ 2,623,886 )	
会場・会議費	( 20,961,000 )	( 26,629,139 )	( △ 5,668,139 )	
印刷費	( 7,703,000 )	( 5,911,488 )	( 1,791,512 )	
通信・運搬費	( 2,290,000 )	( 1,329,963 )	( 960,037 )	
旅費交通費	( 1,943,000 )	( 1,864,246 )	( 78,754 )	
払込手数料	( 125,000 )	( 78,342 )	( 46,658 )	
システム運営費	( 187,000 )	( 2,349,248 )	( △ 2,162,248 )	
業務委託費	( 16,545,000 )	( 5,159,518 )	( 11,385,482 )	
顕彰関係費	( 894,000 )	( 520,000 )	( 374,000 )	
諸謝金	( 1,940,000 )	( 1,349,145 )	( 590,855 )	
地方会(本部)・委員会	837,500	921,043	△ 83,543	
会場・会議費	( 90,000 )	( 78,227 )	( 11,773 )	
通信・運搬費	( 10,000 )	( 656 )	( 9,344 )	
システム運営費	( 737,500 )	( 842,160 )	( △ 104,660 )	
編集委員会	52,130,600	45,800,549	6,330,051	
学会誌出版費	( 36,110,000 )	( 32,949,064 )	( 3,160,936 )	
発送経費	( 8,080,000 )	( 8,431,255 )	( △ 351,255 )	
校正費	( 3,380,000 )	( 2,485,831 )	( 894,169 )	
諸謝金	( 500,000 )	( 0 )	( 500,000 )	
システム運営費	( 1,420,000 )	( 330,500 )	( 1,089,500 )	
会場・会議費	( 140,600 )	( 666,272 )	( △ 525,672 )	
通信・運搬費	( 0 )	( 66,337 )	( △ 66,337 )	
旅費交通費	( 2,500,000 )	( 871,290 )	( 1,628,710 )	
研究開発促進委員会	270,000	121,911	148,089	
文具消耗品費	( 2,000 )	( 1,026 )	( 974 )	
会場・会議費	( 136,000 )	( 44,534 )	( 91,466 )	
通信・運搬費	( 12,000 )	( 4,471 )	( 7,529 )	
旅費交通費	( 120,000 )	( 71,880 )	( 48,120 )	
研究開発班関係	3,800,000	3,803,873	△ 3,873	2研究開発班
臨時雇い賃金	( 700,000 )	( 0 )	( 700,000 )	
文具消耗品費	( 1,100,000 )	( 1,589,486 )	( △ 489,486 )	
会場・会議費	( 250,000 )	( 55,000 )	( 195,000 )	
通信・運搬費	( 0 )	( 2,016 )	( △ 2,016 )	
旅費交通費	( 750,000 )	( 176,103 )	( 573,897 )	
払込手数料	( 0 )	( 8,024 )	( △ 8,024 )	
業務委託費	( 1,000,000 )	( 1,872,600 )	( △ 872,600 )	
雑費	( )	( 100,644 )	( △ 100,644 )	
研究会関係	1,800,000	1,403,761	396,239	4研究会
臨時雇い賃金	( 0 )	( 40,000 )	( △ 40,000 )	
文具消耗品費	( 305,000 )	( 279,397 )	( 25,603 )	
会場・会議費	( 530,000 )	( 77,265 )	( 452,735 )	
印刷費	( 820,000 )	( 515,982 )	( 304,018 )	
通信・運搬費	( 35,000 )	( 22,246 )	( 12,754 )	
旅費交通費	( 80,000 )	( 274,741 )	( △ 194,741 )	
払込手数料	( 30,000 )	( 114,902 )	( △ 84,902 )	
システム運営費	( 0 )	( 79,228 )	( △ 79,228 )	

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
顕彰委員会	4,592,000	3,401,710	1,190,290	
顕彰関係費	( 4,100,000 )	( 3,000,000 )	( 1,100,000 )	各種賞金
文具消耗品費	( 12,000 )	( 6,424 )	( 5,576 )	
会場・会議費	( 100,000 )	( 139,397 )	( △ 39,397 )	
印刷費	( 50,000 )	( 17,647 )	( 32,353 )	
通信・運搬費	( 30,000 )	( 4,022 )	( 25,978 )	
旅費交通費	( 300,000 )	( 234,220 )	( 65,780 )	
用語・診断基準委員会	829,000	607,524	221,476	
会費・分担金	( 310,000 )	( 310,000 )	( 0 )	日本乳がん検診精度管理中央機構
文具消耗品費	( 0 )	( 1,754 )	( △ 1,754 )	
会場・会議費	( 60,000 )	( 295,770 )	( △ 235,770 )	
印刷費	( 150,000 )	( 0 )	( 150,000 )	
通信・運搬費	( 9,000 )	( 0 )	( 9,000 )	
旅費交通費	( 300,000 )	( 0 )	( 300,000 )	
機器及び安全に関する委員会	1,347,300	960,287	387,013	
校正費	( 0 )	( 82,594 )	( △ 82,594 )	
会費・分担金	( 200,000 )	( 200,000 )	( 0 )	日本医療安全調査機構
会場・会議費	( 141,300 )	( 169,882 )	( △ 28,582 )	
印刷費	( 100,000 )	( 0 )	( 100,000 )	
通信・運搬費	( 6,000 )	( 1,181 )	( 4,819 )	
旅費交通費	( 900,000 )	( 506,630 )	( 393,370 )	
教育委員会	373,000	385,554	△ 12,554	
会場・会議費	( 20,000 )	( 62,944 )	( △ 42,944 )	
通信・運搬費	( 3,000 )	( 0 )	( 3,000 )	
旅費交通費	( 350,000 )	( 322,610 )	( 27,390 )	
教育セッション関係	1,554,600	1,482,873	71,727	
業務委託費	( 330,000 )	( 0 )	( 330,000 )	
諸謝金	( 534,600 )	( 501,165 )	( 33,435 )	講師旅費を含む
臨時雇い賃金	( 0 )	( 68,237 )	( △ 68,237 )	
会場・会議費	( 0 )	( 362,935 )	( △ 362,935 )	
印刷費	( 570,000 )	( 549,936 )	( 20,064 )	教育セッションテキスト含む
通信・運搬費	( 20,000 )	( 0 )	( 20,000 )	
払込手数料	( 0 )	( 600 )	( △ 600 )	Web配信手数料
旅費交通費	( 100,000 )	( 0 )	( 100,000 )	
講習会関係	8,440,000	8,510,622	△ 70,622	講習会4回
システム運営費	( 220,000 )	( 388,500 )	( △ 168,500 )	
業務委託費	( 1,900,000 )	( 1,246,860 )	( 653,140 )	
諸謝金	( 2,500,000 )	( 1,885,212 )	( 614,788 )	講師旅費を含む
文具消耗品費	( 0 )	( 43,548 )	( △ 43,548 )	
会場・会議費	( 2,520,000 )	( 3,748,493 )	( △ 1,228,493 )	
印刷費	( 600,000 )	( 595,070 )	( 4,930 )	講習会テキスト含む
通信・運搬費	( 100,000 )	( 194,391 )	( △ 94,391 )	
旅費交通費	( 600,000 )	( 398,308 )	( 201,692 )	
払込手数料	( 0 )	( 10,240 )	( △ 10,240 )	Web配信手数料
小規模講習会関係	3,060,000	2,156,870	903,130	小規模講習会5回
頒布資料印刷費	( 0 )	( 278,640 )	( △ 278,640 )	クリアフォルダ
諸謝金	( 2,000,000 )	( 1,101,767 )	( 898,233 )	講師旅費を含む
臨時雇い賃金	( 320,000 )	( 142,000 )	( 178,000 )	
文具消耗品費	( 0 )	( 1,634 )	( △ 1,634 )	
会場・会議費	( 50,000 )	( 305,281 )	( △ 255,281 )	
印刷費	( 250,000 )	( 0 )	( 250,000 )	講習会テキスト含む
通信・運搬費	( 80,000 )	( 7,368 )	( 72,632 )	
旅費交通費	( 360,000 )	( 320,180 )	( 39,820 )	
必修講習会	9,348,550	4,142,363	5,206,187	
頒布資料印刷費	( 1,480,000 )	( 270,000 )	( 1,210,000 )	
システム運営費	( 4,321,690 )	( 1,856,400 )	( 2,465,290 )	
業務委託費	( 400,000 )	( 82,280 )	( 317,720 )	
諸謝金	( 222,740 )	( 222,117 )	( 623 )	講師旅費を含む
臨時雇い賃金	( 0 )	( 81,179 )	( △ 81,179 )	
文具消耗品費	( 0 )	( 175,408 )	( △ 175,408 )	
会場・会議費	( 1,840,000 )	( 1,071,568 )	( 768,432 )	
印刷費	( 50,000 )	( 146,560 )	( △ 96,560 )	講習会テキスト含む
通信・運搬費	( 62,200 )	( 97,697 )	( △ 35,497 )	
旅費交通費	( 100,000 )	( 91,646 )	( 8,354 )	
払込手数料	( 871,920 )	( 47,508 )	( 824,412 )	

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考	
専門医制度委員会	10,109,500	8,672,196	1,437,304		
頒布資料印刷費	( 2,156,000 )	( 2,157,840 )	( △ 1,840 )	専門医認定試験問題集(第6版)	
システム運営費	( 2,000,000 )	( 2,037,037 )	( △ 37,037 )		
業務委託費	( 172,000 )	( 162,000 )	( 10,000 )		
諸謝金	( 516,500 )	( 535,000 )	( △ 18,500 )		
臨時雇い賃金	( 200,000 )	( 134,820 )	( 65,180 )		
文具消耗品費	( 0 )	( 34,267 )	( △ 34,267 )		
会場・会議費	( 741,000 )	( 754,878 )	( △ 13,878 )		
印刷費	( 944,000 )	( 730,860 )	( 213,140 )		
通信・運搬費	( 495,000 )	( 614,621 )	( △ 119,621 )		
旅費交通費	( 2,885,000 )	( 1,502,213 )	( 1,382,787 )		
雑費	( 0 )	( 8,660 )	( △ 8,660 )		
工学フェロー認定審査委員会	267,000	209,412	57,588		
会場・会議費	( 15,000 )	( 14,580 )	( 420 )		
通信・運搬費	( 17,000 )	( 14,152 )	( 2,848 )		
旅費交通費	( 235,000 )	( 180,680 )	( 54,320 )		
検査士制度委員会	19,520,000	18,441,702	1,078,298		
システム運営費	( 550,000 )	( 616,200 )	( △ 66,200 )		
業務委託費	( 312,000 )	( 317,880 )	( △ 5,880 )		
諸謝金	( 2,600,000 )	( 2,433,500 )	( 166,500 )		
臨時雇い賃金	( 1,570,000 )	( 1,550,894 )	( 19,106 )		
文具消耗品費	( 0 )	( 63,044 )	( △ 63,044 )		
会場・会議費	( 6,880,000 )	( 5,936,920 )	( 943,080 )		
印刷費	( 2,494,000 )	( 2,381,436 )	( 112,564 )		
通信・運搬費	( 3,750,000 )	( 3,740,949 )	( 9,051 )		
旅費交通費	( 1,364,000 )	( 1,366,239 )	( △ 2,239 )		
雑費	( 0 )	( 34,640 )	( △ 34,640 )		
国際交流委員会	4,239,000	4,029,866	209,134		
奨学金	( 1,200,000 )	( 1,200,000 )	( 0 )	AFSUMB分担金	
会費・分担金	( 2,648,000 )	( 2,656,250 )	( △ 8,250 )		
諸謝金	( 60,000 )	( 60,000 )	( 0 )		
会場・会議費	( 21,000 )	( 0 )	( 21,000 )		
通信・運搬費	( 10,000 )	( 2,816 )	( 7,184 )		
旅費交通費	( 300,000 )	( 110,800 )	( 189,200 )		
WFUMB機関誌関係	1,110,000	269,708	840,292		
WFUMB機関誌購入費	( 990,000 )	( 194,990 )	( 795,010 )		
発送経費	( 120,000 )	( 74,718 )	( 45,282 )		
広報委員会	1,523,000	1,042,413	480,587		
システム運営費	( 1,523,000 )	( 1,042,413 )	( 480,587 )		
企画委員会	290,900	0	290,900		
会場・会議費	( 13,600 )	( 0 )	( 13,600 )		
通信・運搬費	( 3,000 )	( 0 )	( 3,000 )		
旅費交通費	( 274,300 )	( 0 )	( 274,300 )		
男女共同参画委員会	269,100	145,152	123,948		
諸謝金	( 50,000 )	( 77,425 )	( △ 27,425 )		
会場・会議費	( 16,100 )	( 35,747 )	( △ 19,647 )		
通信・運搬費	( 3,000 )	( 0 )	( 3,000 )		
旅費交通費	( 200,000 )	( 31,980 )	( 168,020 )		
事業費計	332,852,550	302,580,312	30,272,238		
管理費					
給与手当	51,913,000	51,925,977	△ 12,977		
会計顧問料	864,000	864,000	0		
福利厚生費	490,000	464,968	25,032		
法定福利費	9,397,200	8,680,323	716,877		
職員交通費	1,498,200	1,498,940	△ 740		
事務所賃借料	19,883,000	19,913,674	△ 30,674		
事務用機器賃借料	918,000	917,076	924		
備品費	200,000	172,100	27,900		
文具消耗品費	432,000	302,195	129,805		
光熱水料	1,164,000	1,246,609	△ 82,609		
事務OA化費	800,000	837,566	△ 37,566		
会場・会議費	864,000	373,335	490,665		
印刷費	1,568,000	1,626,302	△ 58,302		
通信・運搬費	3,210,700	3,342,812	△ 132,112		
旅費交通費	3,000,000	2,431,756	568,244		
保険料	155,000	160,450	△ 5,450		
租税公課	3,300,000	7,160,700	△ 3,860,700	消費税	
払込手数料	2,500,000	1,966,154	533,846		
システム運営費	450,000	170,726	279,274		
会費・分担金	520,000	468,900	51,100	日本医学会連合・公益法人協会ほか	

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
雑費	440,000	397,088	42,912	
保険委員会	625,000	663,200	△ 38,200	
会費・分担金	( 600,000 )	( 600,000 )	( 0 )	内保連、外保連
会場・会議費	( 10,000 )	( 0 )	( 10,000 )	
通信・運搬費	( 5,000 )	( 0 )	( 5,000 )	
旅費交通費	( 10,000 )	( 63,200 )	( △ 53,200 )	
倫理委員会	12,900	0	12,900	
会場・会議費	( 9,900 )	( 0 )	( 9,900 )	
通信・運搬費	( 3,000 )	( 0 )	( 3,000 )	
利益相反委員会	241,000	25,132	215,868	
会場・会議費	( 11,000 )	( 25,132 )	( △ 14,132 )	
旅費交通費	( 230,000 )	( 0 )	( 230,000 )	
規約関係	5,000	0	5,000	
通信・運搬費	( 5,000 )	( 0 )	( 5,000 )	
選挙関係	2,865,200	843,153	2,022,047	
会場・会議費	( 37,100 )	( 39,610 )	( △ 2,510 )	
印刷費	( 730,000 )	( 0 )	( 730,000 )	
通信・運搬費	( 1,029,200 )	( 679,283 )	( 349,917 )	
旅費交通費	( 493,900 )	( 124,260 )	( 369,640 )	
システム運営費	( 55,000 )	( 0 )	( 55,000 )	
業務委託費	( 520,000 )	( 0 )	( 520,000 )	
管理費計	107,316,200	106,453,136	863,064	
事業活動支出計 (B)	440,168,750	409,033,448	31,135,302	
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	9,100,000	48,947,273	△ 39,847,273	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定預金取崩収入	1,200,000	900,000	300,000	
松尾賞基金取崩収入	( 600,000 )	( 300,000 )	( 300,000 )	
伊東賞基金取崩収入	( 600,000 )	( 600,000 )	( 0 )	
投資活動収入計 (D)	1,200,000	900,000	300,000	
2. 投資活動支出				
特定預金繰入支出	10,300,000	20,300,000	△ 10,000,000	
退職給付引当預金支出	( 6,000,000 )	( 16,000,000 )	( △ 10,000,000 )	
学術奨励基金組入支出	( 2,300,000 )	( 2,300,000 )	( 0 )	
システム関連基金支出	( 2,000,000 )	( 2,000,000 )	( 0 )	
投資活動支出計 (E)	10,300,000	20,300,000	△ 10,000,000	
投資活動収支差額 (F)=(D)-(E)	△ 9,100,000	△ 19,400,000	10,300,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入			0	
財務活動収入計 (G)	0	0	0	
2. 財務活動支出			0	
財務活動支出計 (H)	0	0	0	
財務活動収支差額 (J)=(G)-(H)	0	0	0	
IV 予備費支出		-	0	
当期収支差額 (K)=(C)+(F)+(J)	0	29,547,273	△ 29,547,273	
前期繰越収支差額 (L)	0	98,899,268	△ 98,899,268	
次期繰越収支差額 (K)+(L)	0	128,446,541	△ 128,446,541	

## 2. 2

### 収支計算書(資金収支計算ベース)に対する注記

#### 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払金、仮払金、未払金、前受会費、前受金、預り金、会費仮受金及び仮受金を含めている。

#### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は、次のとおりである。

	前期末残高	当期末残高
現金預金	92,620,960	122,163,573
未収入金	397,995	343,433
前払金	10,295,880	11,075,805
仮払金	5,187,955	5,455,900
合計(A)	108,502,790	139,038,711
未払金	4,296,504	3,843,733
前受会費	804,500	1,016,940
前受金	1,007,000	2,714,000
預り金	174,591	160,262
会費仮受金	3,111,500	2,641,000
仮受金	209,427	216,235
合計(B)	9,603,522	10,592,170
次期繰越収支差額(A-B)	98,899,268	128,446,541

## 監査報告書

公益社団法人日本超音波医学会

理事長 工藤 正俊 殿

令和2年4月27日

監事 中谷 敏 

監事 金井 浩 

私は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年会計年度における会計および業務監査を行い、次のとおり報告する。

### 1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査 帳簿および関係書類並びに計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査 理事会およびその他の会議に出席し、理事からの業務報告および関係書類により業務執行の妥当性を検討した。

### 2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録は、会計帳簿の記載と一致し、法人の収支状況および財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は事実であると認める。  
理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する事実はないと認める。

以上

## 監査報告書

公益社団法人日本超音波医学会

理事長 工藤 正俊 殿

2020年4月23日

馬目公認会計士事務所

公認会計士

馬目 和昭



私は、公益社団法人日本超音波医学会の2019年4月1日から2020年3月31日までの2019年度の貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにその附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、公益社団法人日本超音波医学会の当該財務諸表等に係る期間の財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

公益社団法人日本超音波医学会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(資料4)

## 公益社団法人日本超音波医学会 令和2年度事業計画書

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

令和2年度における本会の事業計画は次のとおりである。

※新型コロナウイルス感染症により中止を決定したのものについては、(中止)と表記

[公益目的事業 学会誌等出版事業]

### I 学会誌の発行

和文誌「超音波医学」(7冊)：第47巻 Supplement号、3～6号及び第48巻1・2号並びに英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」(4冊)：第47巻2～4号及び第48巻1号の計11冊を発行する。

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業]

### II 学術集会

学術集会を下記のとおり年1回開催し、講演抄録は学会誌として発行する。

第93回学術集会 会長 金井 浩

令和2年12月上旬 於：仙台国際センター(宮城県仙台市)

以降の予定

第94回学術集会 会長 飯島 尋子

令和3年5月21日(金)～23日(日) 於：神戸国際展示場・神戸ポートピアホテル(兵庫県神戸市)

第95回学術集会 会長 廣岡 芳樹

令和4年5月20日(金)～22日(日) 於：名古屋国際会議場(愛知県名古屋市)

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業]

### III 地方会学術集会

下記の地方会の開催を予定している。

#### a. 北海道地方会学術集会

第50回 会長 工藤 信樹

令和2年10月10日(土) 於：北海道大学学術交流会館(北海道札幌市)

#### b. 東北地方会学術集会

第60回 会長 飯野 貴子

令和2年9月13日(日) 於：にぎわい交流会AU(秋田県秋田市)

第61回 会長 虻江 誠

令和3年3月7日(日) 於：仙台市中小企業活性化センター アエル仙台(宮城県仙台市)

#### c. 関東甲信越地方会学術集会

第32回 会長 石塚 修

令和2年10月17日(土)～18日(日) 於：ホテルメトロポリタン長野(長野県長野市) (中止)

#### d. 中部地方会学術集会

第41回 会長 安田 鋭介

令和2年9月6日(日) 於：鈴鹿医療科学大学(三重県鈴鹿市) (中止)

#### e. 関西地方会学術集会

第47回 会長 奥野 敏隆

令和2年10月24日(土) 於：大阪国際会議場(大阪府大阪市) (中止)

f. 中国地方会学術集会

第56回 会長 能祖 一裕

令和2年9月5日(土) 於：岡山コンベンションセンター(岡山県岡山市) (中止)

g. 四国地方会学術集会

第30回 会長 井上 勝次

令和2年10月10日(土) 於：愛媛大学医学部講義棟(愛媛県東温市)

h. 九州地方会学術集会

第30回 会長 黒松 亮子

令和2年10月4日(日) 於：久留米シティプラザ(福岡県久留米市)

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業]

IV 教育セッション・超音波診断講習会・小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)・必修講習会

1 教育セッション

第19回教育セッション 令和2年12月上旬 於：東北大学文科系総合講義棟(宮城県仙台市)

2 超音波診断講習会

超音波診断講習会(Point of Care)

令和2年12月13日(日) 於：神戸国際会議場(兵庫県神戸市)

超音波診断講習会(消化器)

令和2年10月10日(土) 於：兵庫医科大学(兵庫県西宮市)

超音波診断講習会(乳腺) 開催日 未定 於：未定

超音波診断講習会(表在・その他) 開催日 未定 於：未定

3 小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)

北海道地区 開催日 未定 於：未定

東北地区 開催日 未定 於：未定

関東・甲信越地区 開催日 未定 於：未定

中部地区 開催日 未定 於：福井大学(福井県福井市)

開催日 未定 於：未定

関西地区 開催日 未定 於：未定

中国地区 開催日 未定 於：未定

四国地区 開催日 未定 於：香川県立中央病院(香川県高松市)

開催日 未定 於：未定

九州地区 開催日 未定 於：未定

4 必修講習会

第93回学術集会 令和2年12月上旬 於：東北大学文科系総合講義棟(宮城県仙台市)

北海道地区 令和2年10月10日(土) 於：北海道大学学術交流会館(北海道札幌市)

東北地区 令和3年3月7日(日)

於：仙台市中小企業活性化センターアエル仙台(宮城県仙台市)

関東・甲信越地区 令和2年10月18日(日) 於：ホテルメトロポリタン長野(長野県長野市)

			(中止)
中部地区	令和2年9月6日(日)	於：鈴鹿医療科学大学(三重県鈴鹿市)	(中止)
関西地区	令和2年10月24日(土)	於：大阪国際会議場(大阪府大阪市)	(中止)
中国地区	令和2年9月5日(土)	於：岡山コンベンションセンター(岡山県岡山市)	(中止)
四国地区	令和2年10月10日(土)	於：愛媛大学医学部講義棟(愛媛県東温市)	
九州地区	令和2年10月4日(日)	於：久留米シティプラザ(福岡県久留米市)	

## V 各種委員会等

[会員相互補助事業]

### 1 企画委員会

- a. 本会と関連省庁との連携を強める。
- b. その他、理事長より諮問される案件については慎重に審議し、早急に答申するとともに、超音波医学について将来的視野で検討し、委員会独自の提言を行う。

[公益目的事業 調査研究事業]

### 2 機器及び安全に関する委員会

- a. 「超音波の安全性」についての調査、啓発活動を行う。
- b. 「音響放射力の生体への影響検討小委員会」において、音響放射力インパルスが生体への影響について検討を行う。
- c. 「経膈探触子の消毒法に関する小委員会」において、経膈探触子の消毒法に関する検討を行う。
- d. 「SWE(shear wave elastography)の標準化小委員会」において、診断の標準化に関する検討を行う。
- e. 作業関連筋骨格系障害と眼の障害を予防するための機器と作業環境についてのアンケートを実施する。
- f. 超音波診断機器の安全規格に関する最新動向を把握するため、国際電気標準会議(IEC)に委員1名を派遣する。
- g. 第93回学術集會会期中に特別企画を実施する。
- h. 「診断用超音波の安全な使用」を印刷し、希望者に配付する。
- i. 医学教育における超音波関連の項目に関する検討を行う。

[公益目的事業 学会誌等出版事業]

### 3 編集委員会

- a. 和文誌「超音波医学」(7冊)：第47巻 Supplement号、3～6号及び第48巻1・2号並びに英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」(4冊)：第47巻2～4号及び第48巻1号の計11冊を発行する。
- b. メールマガジンを配信する。
- c. 総説及び特集などの執筆を依頼する。
- d. Impact Factor値の上昇について方策を検討する。

[公益目的事業 調査研究事業]

### 4 用語・診断基準委員会

- a. 医用超音波用語関係
  - 1) 医用超音波用語集改訂を随時行い、本会のウェブサイトにて反映する。
  - 2) 他学会との交流、及び連携を図り、用語の整合性について検討を行う。
- b. 診断基準関係

- 1)「腹部超音波検診判定マニュアル」改訂に向けて検討を行う。
- 2)「消化管診断基準」公示に向けて検討を行う。
- 3)「胆嚢腫瘍診断基準」公示に向けて検討を行う。
- 4)「脂肪肝の超音波診断基準」公示に向けて検討を行う。
- 5)「双胎妊娠胎児の標準値」公示に向けて検討を行う。
- 6)「胎児超音波スクリーニングガイドライン」公示に向けて検討を行う。
- 7)「非腫瘍性病変乳腺疾患ガイドライン」公示に向けて検討を行う。
- 8)「乳房造影超音波診断基準」公示に向けて検討を行う。
- 9)「胸部超音波用語・診断基準」公示に向けて検討を行う。
- 10)「膵癌超音波診断基準」改訂に向けて検討を行う。
- 11)「超音波による大動脈病変の標準的評価法」改訂に向けて検討を行う。
- 12)「超音波による四肢動脈病変の標準的評価法」改訂に向けて検討を行う。

[法人事業／法人管理関係]

## 5 保険委員会

- a. 次回療報酬改定に向け要望項目について、会員にアンケート調査を行い、次回診療報酬改定に向けての準備を行う。
- b. 引き続き、内保連・外保連に委員を派遣し、関連他学会との情報交換を行う。
- c. 例年のように超音波専門医研修施設宛に各種超音波検査の年間検査件数及び検査に携わる医師や技師の実態把握のためのアンケート調査を行う。

[公益目的事業 国際交流事業]

## 6 国際交流委員会

- a. 公益社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUM Fellowship)関係  
「公益社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して、下記の活動を行う。
  - 1)2020年度JSUM Fellowship研修生の研修を実施する。
  - 2)2021年度JSUM Fellowship研修生を公募し、選考する。
  - 3)今後の国際貢献のあり方について検討する。
- b. アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)・世界超音波医学学術連合大会(WFUMB)関係
  - 1)令和2年10月29日～31日に北京において開催される第14回AFSUMB大会に学術、広報などの面で協力する。
  - 2)令和3年5月26日～29日にルーマニアにおいて開催される第18回WFUMB大会に学術、広報などの面で協力する。
  - 3)英文誌(Journal of Medical Ultrasonics)並びにAFSUMB及び本会のウェブサイトにおいてJSUM Fellowshipの募集広告を行う。
  - 4)AFSUMB及びWFUMBのEducation Programに協力する。
  - 5)公益社団法人日本超音波医学会の国際化を一層推進するため、新たな交流事業について検討する。
- c. 超音波医学に関して国際的に活躍されている方で本会名誉会員にふさわしい方を検討し、理事会へ推薦する。

[公益目的事業 学術集会・講習会等事業]

## 7 教育委員会

- a. 第93回学術集會会期中に「第19回教育セッション」を開催する。(IV関係参照)
- b. 第94回学術集會会期中に開催する「第20回教育セッション」を企画し、開催に向けての準備を行う。

- c. 令和2年度中に「超音波診断講習会」を計4回実施する。(IV関係参照)
- d. 令和3年度に開催する「超音波診断講習会」を企画し、開催に向けての準備を行う。
- e. 令和2年度中に「小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)」を計10回実施する。(IV関係参照)
- f. 令和3年度に開催する「小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)」を企画し、開催に向けての準備を行う。
- g. 令和2年度の学術集会時及び地方会学術集会時に「必修講習会」を実施する。(IV関係参照)

[収益事業 資格認定事業]

## 8 超音波専門医制度委員会

- a. 第30回超音波専門医認定試験を実施する。(中止)
- b. 第31回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織する。
- c. 令和2年度超音波指導医の新規自薦申請者を公募する。
- d. 第26回超音波専門医資格更新審査を実施する。(中止)
- e. 第27回超音波専門医更新に関する会告を公示する。
- f. 令和2年度指定の研修施設に令和2年4月1日付けで指定証を交付する。
- g. 令和3年度研修施設・研修施設群(基幹施設、連携施設)の指定に向けての審査を行う。
- h. 超音波研修カリキュラムに沿った超音波研修プログラムのモデルを策定する。
- i. 超音波専門医制度に関する会員への啓発を積極的に行う。
- j. 超音波専門医制度に関する他学会との連携を深める。
- k. 一般社団法人日本専門医機構の事業に主体的に関わって、専門医制度の資質向上に資する。
- l. 新専門医制度への移行に備え、基本領域学会からサブスペシャリティ領域の承認を得られるよう対策を進める。

[公益目的事業 表彰事業]

## 9 顕彰委員会

- a. 第22回特別学会賞の選考を行う。
- b. 第19回松尾賞の選考を行う。
- c. 第20回技術賞の選考を行う。
- d. 第34回菊池賞(論文賞)の選考を行う。
- e. 第15回伊東賞(論文賞)の選考を行う。
- f. 第21回奨励賞の選考を行う。
- g. 第9回新人賞(地方会)の選考を行う。

[収益事業 資格認定事業]

## 10 超音波検査士制度委員会

- a. 第36回超音波検査士認定試験を実施する。(中止)
- b. 第31回超音波検査士資格更新を実施する。
- c. 第9回超音波指導検査士(腹部領域)認定試験を実施する。(中止)
- d. 第4回超音波指導検査士(腹部領域)資格更新を実施する。
- e. 超音波検査士の更なる育成を図る。
- f. 「超音波指導検査士(腹部領域)認定試験のための講習会」を実施する。(中止)
- g. 超音波検査士(超音波指導検査士も含む)認定問題集(第5版)を監修し、民間出版社から発行・市販する。

[収益事業 資格認定事業]

#### 11 超音波工学フェロー認定審査委員会

- a. 第22回超音波工学フェローを公募し、認定審査を実施する。
- b. 第17回超音波工学フェロー資格更新審査を実施する。(中止)
- c. 超音波工学フェロー制度の活性化の議論を行い、必要な方策を実施する。

[公益目的事業 研究開発促進事業]

#### 12 研究開発促進委員会

- a. 令和2年度研究会の設置申請についての審査を行い、研究会の設置を認可する。
- b. 令和3年度研究会の設置申請の公募を行い、応募書類を審査する。
- c. 第93回学術集會会期中に「研究成果発表会」を実施する。

[法人事業/法人管理関係]

#### 13 倫理委員会

倫理に関する事項について検討を行う。

[公益目的事業 学術集會・講習会等事業]

#### 14 学術集會委員会

- a. 学術集會の在り方を考えて、その運営が円滑に行われるように助言する。
- b. 本学会として、中長期的に継続させるべきプログラムについて検討し、各種委員会にて検討していただくよう提言する。
- c. 第96回学術集會会長候補者について、役員及び代議員宛に自薦並びに他薦依頼を行い、それに基づき学術集會会長を理事会で選任する。

[公益目的事業 学会誌等出版事業]

#### 15 広報委員会

- a. 本学会情報をウェブサイト及びメールマガジンにより広報を行う。
- b. ウェブサイトで生じた問題点を速やかに解決・修正して行き、より良いウェブ環境を構築する。

[公益目的事業 学術集會・講習会等事業]

#### 16 地方会委員会

- a. 地方会に関する事業の発展、充実及び円滑な運営の促進
  - 1) 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行う。
  - 2) 地方交付金の算定を行い、交付する。
  - 3) 地方会学術集會に関して助言を行う。
  - 4) 地方会講習会に関して助言を行う。
  - 5) 学術集會委員会と共同して正会員増加に関する検討を行う。
- b. 地方会委員会会議及び地方会運営委員長会議を開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行う。
- c. 地方会を通じて正会員数増加の推進を行う。
- d. 各地方会学術集會演題受付ウェブシステムを利用し、抄録のウェブ掲載を行う。

[法人事業/法人管理関係]

#### 17 利益相反委員会

会員の利益相反に関するマネジメントを行う。

[会員相互補助事業]

## 18 男女共同参画委員会

- a. 第93回学術集會会期中に男女共同参画シンポジウムを開催する。
- b. 男女共同参画に関するアンケート調査を実施する。
- c. 女性の超音波工学フェローとの懇談会を開催し、超音波医学会を發展させるため、工学系女性会員を増やすため、意見交換を行う。
- d. 令和2年度日本医師会女性医師支援担当者連絡会に参加する。

[公益目的事業 調査研究事業]

## 19 超音波画像のデータベース構築・人工知能診断開発推進委員会

臨床研究等の ICT 基盤構築に関する調査研究事業として、次世代に向けた超音波画像データベースを構築するための調査研究に取り組む。

[法人事業／法人管理関係]

## 20 会員資格審査関係

会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記認定の審査を行う。

- 1) 入会希望者及び退会希望者の審査
- 2) 会員資格喪失該当者の審査
- 3) 会員種別変更希望者の審査
- 4) 休会希望者の審査

[法人事業／法人管理関係]

## 21 規約関係

理事長の諮問を受けて、学会運営に関する諸規約の制定及び改正について逐次審議し、作案する。

[会員相互補助事業]

## VI 日本医学会関係

- 1 日本医学会定時総会に出席する。
- 2 日本医学会シンポジウムに協力する。
- 3 令和2年度日本医学会分科会用語委員会に出席する。
- 4 日本医学会研究倫理教育研修会に出席する。

## 収支予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	3,600	3,600	0	
入金収入	1,450,000	1,290,000	160,000	
会費収入	160,113,000	153,360,000	6,753,000	
正会員会費	( 85,800,000 )	( 86,060,000 )	( △ 260,000 )	@13,000円×6,600人
シニア会員会費	( 11,880,000 )	( 10,560,000 )	( 1,320,000 )	@11,000円×1,080人
準会員会費	( 60,650,000 )	( 54,950,000 )	( 5,700,000 )	@10,000×1,200・@7,000×6,950
学生会員会費	( 63,000 )	( 70,000 )	( △ 7,000 )	@3,500円×18人
賛助会員会費	( 1,720,000 )	( 1,720,000 )	( 0 )	@40,000円×43口(12社)
学術集会関係	80,290,500	145,398,500	△ 65,108,000	
参加費収入	( 32,480,000 )	( 67,226,500 )	( △ 34,746,500 )	
共催セミナー収入ほか	( 46,250,000 )	( 73,235,200 )	( △ 26,985,200 )	
広告収入	( 940,000 )	( 2,386,800 )	( △ 1,446,800 )	
寄付金収入	( 20,000 )	( 2,550,000 )	( △ 2,530,000 )	
補助金・助成金収入	( 600,000 )	( 0 )	( 600,000 )	
受取利息	( 500 )	( 0 )	( 500 )	
地方会関係	53,299,000	46,065,000	7,234,000	
参加費収入	( 18,140,000 )	( 17,560,000 )	( 580,000 )	
共催セミナー収入ほか	( 25,915,000 )	( 18,816,000 )	( 7,099,000 )	
広告収入	( 6,234,000 )	( 5,049,000 )	( 1,185,000 )	
寄付金収入	( 2,860,000 )	( 4,560,000 )	( △ 1,700,000 )	
補助金・助成金収入	( 0 )	( 30,000 )	( △ 30,000 )	
雑収入	( 150,000 )	( 50,000 )	( 100,000 )	
編集委員会	2,400,000	1,490,000	910,000	
学会誌別刷収入	( 90,000 )	( 90,000 )	( 0 )	和文誌6回
広告収入	( 210,000 )	( 1,000,000 )	( △ 790,000 )	
著作権・印税収入	( 1,700,000 )	( 200,000 )	( 1,500,000 )	著作権使用料
資料頒布収入	( 400,000 )	( 200,000 )	( 200,000 )	オンデマンド印刷等頒布ほか
顕彰委員会	1,700	1,800	△ 100	
特定資産運用収入	( 1,700 )	( 1,800 )	( △ 100 )	
教育セッション関係	2,453,600	3,060,000	△ 606,400	
参加費収入	( 2,400,000 )	( 3,000,000 )	( △ 600,000 )	
資料頒布収入	( 53,600 )	( 60,000 )	( △ 6,400 )	教育セッションWEB配信・DVD
講習会関係	10,120,400	9,760,000	360,400	
参加費収入	( 10,040,000 )	( 9,460,000 )	( 580,000 )	4回開催
資料頒布収入	( 80,400 )	( 300,000 )	( △ 219,600 )	講習会WEB配信・DVD
小規模講習会関係	230,000	210,000	20,000	
参加費収入	( 230,000 )	( 210,000 )	( 20,000 )	10回開催(追加2回分含む)
必修講習会関係	13,119,920	11,062,200	2,057,720	
参加費収入	( 9,873,600 )	( 2,343,000 )	( 7,530,600 )	
資料頒布収入	( 3,246,320 )	( 8,719,200 )	( △ 5,472,880 )	E-learning
専門医制度委員会	13,448,800	10,296,800	3,152,000	
試験・新規認定収入	( 5,991,000 )	( 6,425,500 )	( △ 434,500 )	試験受験料・認定料
更新認定収入	( 5,425,000 )	( 2,545,000 )	( 2,880,000 )	
資料頒布収入	( 2,032,800 )	( 1,326,300 )	( 706,500 )	専門医問題集
工学F10-認定審査委員会	57,500	107,000	△ 49,500	
新規認定収入	( 35,000 )	( 29,500 )	( 5,500 )	
更新認定収入	( 22,500 )	( 77,500 )	( △ 55,000 )	
検査士制度委員会	66,327,430	66,374,600	△ 47,170	
試験・新規認定収入	( 45,710,000 )	( 47,178,000 )	( △ 1,468,000 )	試験受験料・認定料
更新認定収入	( 20,279,000 )	( 18,860,000 )	( 1,419,000 )	↳(指導検査士含む)
著作権・印税収入	( 338,430 )	( 336,600 )	( 1,830 )	検査士問題集印税
国際交流委員会	450	450	0	基金預金利息
特定資産運用収入	( 450 )	( 450 )	( 0 )	
広報委員会	500	300	200	基金預金利息
特定資産運用収入	( 500 )	( 300 )	( 200 )	
WFUMB機関誌関係	0	775,000	△ 775,000	取り扱い中止
受取利息	15,500	13,500	2,000	基金分は除く
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	(A) 403,331,900	449,268,750	△ 45,936,850	

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
2. 事業活動支出				
事業費				
学術集会関係	82,760,000	145,773,500	△ 63,013,500	学術集会補助金
臨時雇い賃金	( 8,470,000 )	( 14,671,000 )	( △ 6,201,000 )	2,000,000円
会計顧問料	( 550,000 )	( 550,000 )	( 0 )	学術集会補助金(託児所分)
文具消耗品費	( 7,160,000 )	( 117,300 )	( 7,042,700 )	500,000円
会場・会議費	( 31,000,000 )	( 91,847,700 )	( △ 60,847,700 )	
印刷費	( 3,340,000 )	( 8,075,000 )	( △ 4,735,000 )	
通信・運搬費	( 400,000 )	( 850,000 )	( △ 450,000 )	
旅費交通費	( 1,740,000 )	( 4,675,000 )	( △ 2,935,000 )	
払込手数料	( 200,000 )	( 0 )	( 200,000 )	
システム運営費	( 7,780,000 )	( 2,800,000 )	( 4,980,000 )	
業務委託費	( 14,120,000 )	( 10,670,000 )	( 3,450,000 )	
顕彰関係費	( 100,000 )	( 0 )	( 100,000 )	
関連行事費	( 7,500,000 )	( 9,817,500 )	( △ 2,317,500 )	
諸謝金	( 400,000 )	( 1,700,000 )	( △ 1,300,000 )	
学術集会(本部)・委員会	615,000	554,000	61,000	
臨時雇い賃金	( 100,000 )	( 100,000 )	( 0 )	
会場・会議費	( 42,000 )	( 421,000 )	( △ 379,000 )	
通信・運搬費	( 23,000 )	( 23,000 )	( 0 )	
旅費交通費	( 450,000 )	( 10,000 )	( 440,000 )	仙台
地方会関係	67,942,000	60,814,000	7,128,000	
臨時雇い賃金	( 6,181,000 )	( 6,169,000 )	( 12,000 )	
文具消耗品費	( 2,107,000 )	( 2,057,000 )	( 50,000 )	
会場・会議費	( 25,635,000 )	( 20,961,000 )	( 4,674,000 )	
印刷費	( 8,275,000 )	( 7,703,000 )	( 572,000 )	
通信・運搬費	( 2,845,000 )	( 2,290,000 )	( 555,000 )	
旅費交通費	( 2,529,000 )	( 1,943,000 )	( 586,000 )	
払込手数料	( 241,000 )	( 125,000 )	( 116,000 )	
システム運営費	( 218,000 )	( 187,000 )	( 31,000 )	
業務委託費	( 16,851,000 )	( 16,545,000 )	( 306,000 )	
顕彰関係費	( 770,000 )	( 894,000 )	( △ 124,000 )	
諸謝金	( 2,290,000 )	( 1,940,000 )	( 350,000 )	
地方会(本部)・委員会	842,200	837,500	4,700	
会場・会議費	( 94,700 )	( 90,000 )	( 4,700 )	
通信・運搬費	( 10,000 )	( 10,000 )	( 0 )	
システム運営費	( 737,500 )	( 737,500 )	( 0 )	
編集委員会	44,219,700	52,130,600	△ 7,910,900	
学会誌出版費	( 30,210,000 )	( 36,110,000 )	( △ 5,900,000 )	
発送経費	( 4,750,000 )	( 8,080,000 )	( △ 3,330,000 )	
校正費	( 3,300,000 )	( 3,380,000 )	( △ 80,000 )	
諸謝金	( 500,000 )	( 500,000 )	( 0 )	
システム運営費	( 2,919,000 )	( 1,420,000 )	( 1,499,000 )	
会場・会議費	( 140,700 )	( 140,600 )	( 100 )	
旅費交通費	( 2,400,000 )	( 2,500,000 )	( △ 100,000 )	
研究開発促進委員会	230,500	270,000	△ 39,500	研究開発促進委員会
文具消耗品費	( 1,500 )	( 2,000 )	( △ 500 )	
会場・会議費	( 97,000 )	( 136,000 )	( △ 39,000 )	
通信・運搬費	( 12,000 )	( 12,000 )	( 0 )	
旅費交通費	( 120,000 )	( 120,000 )	( 0 )	
研究開発班関係	0	3,800,000	△ 3,800,000	令和元年度終了
臨時雇い賃金	( 0 )	( 700,000 )	( △ 700,000 )	
文具消耗品費	( 0 )	( 1,100,000 )	( △ 1,100,000 )	
会場・会議費	( 0 )	( 250,000 )	( △ 250,000 )	
旅費交通費	( 0 )	( 750,000 )	( △ 750,000 )	
業務委託費	( 0 )	( 1,000,000 )	( △ 1,000,000 )	
研究会関係	1,800,000	1,800,000	0	研究会設置費(4研究会)
文具消耗品費	( 285,000 )	( 305,000 )	( △ 20,000 )	
会場・会議費	( 410,000 )	( 530,000 )	( △ 120,000 )	
印刷費	( 790,000 )	( 820,000 )	( △ 30,000 )	
通信・運搬費	( 55,000 )	( 35,000 )	( 20,000 )	
旅費交通費	( 230,000 )	( 80,000 )	( 150,000 )	
払込手数料	( 30,000 )	( 30,000 )	( 0 )	
顕彰委員会	5,044,400	4,592,000	452,400	
顕彰関係費	( 4,500,000 )	( 4,100,000 )	( 400,000 )	
文具・消耗品費	( 12,000 )	( 12,000 )	( 0 )	
会場・会議費	( 182,400 )	( 100,000 )	( 82,400 )	
印刷費	( 50,000 )	( 50,000 )	( 0 )	
通信・運搬費	( 30,000 )	( 30,000 )	( 0 )	
旅費交通費	( 270,000 )	( 300,000 )	( △ 30,000 )	

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
用語・診断基準委員会	1,173,600	829,000	344,600	
会費・分担金	( 310,000 )	( 310,000 )	( 0 )	日本乳がん検診精度管理中央機構
会場・会議費	( 290,000 )	( 60,000 )	( 230,000 )	
印刷費	( 0 )	( 150,000 )	( △ 150,000 )	
通信・運搬費	( 9,000 )	( 9,000 )	( 0 )	
旅費交通費	( 564,600 )	( 300,000 )	( 264,600 )	小委員会を含む
機器及び安全に関する委員会	2,077,200	1,347,300	729,900	
会費・分担金	( 200,000 )	( 200,000 )	( 0 )	日本医療安全調査機構
会場・会議費	( 181,200 )	( 141,300 )	( 39,900 )	
印刷費	( 290,000 )	( 100,000 )	( 190,000 )	
通信・運搬費	( 206,000 )	( 6,000 )	( 200,000 )	
旅費交通費	( 1,200,000 )	( 900,000 )	( 300,000 )	
教育委員会	576,500	373,000	203,500	教育委員会
会場・会議費	( 70,200 )	( 20,000 )	( 50,200 )	
通信・運搬費	( 3,000 )	( 3,000 )	( 0 )	
旅費交通費	( 503,300 )	( 350,000 )	( 153,300 )	
教育セッション関係	1,554,600	1,554,600	0	
業務委託費	( 330,000 )	( 330,000 )	( 0 )	
諸謝金	( 534,600 )	( 534,600 )	( 0 )	講師旅費を含む
印刷費	( 570,000 )	( 570,000 )	( 0 )	教育セッションテキスト含む
通信・運搬費	( 20,000 )	( 20,000 )	( 0 )	
旅費交通費	( 100,000 )	( 100,000 )	( 0 )	
講習会関係	9,136,400	8,440,000	696,400	4回開催
システム運営費	( 220,000 )	( 220,000 )	( 0 )	
業務委託費	( 2,400,000 )	( 1,900,000 )	( 500,000 )	
諸謝金	( 1,336,400 )	( 2,500,000 )	( △ 1,163,600 )	講師旅費を含む
会場・会議費	( 2,480,000 )	( 2,520,000 )	( △ 40,000 )	
印刷費	( 600,000 )	( 600,000 )	( 0 )	講習会テキスト含む
通信・運搬費	( 100,000 )	( 100,000 )	( 0 )	
旅費交通費	( 2,000,000 )	( 600,000 )	( 1,400,000 )	
小規模講習会関係	4,095,000	3,060,000	1,035,000	10回開催(追加2回分含む)
諸謝金	( 1,350,000 )	( 2,000,000 )	( △ 650,000 )	講師旅費を含む
臨時雇い賃金	( 400,000 )	( 320,000 )	( 80,000 )	
会場・会議費	( 50,000 )	( 50,000 )	( 0 )	
印刷費	( 310,000 )	( 250,000 )	( 60,000 )	小規模講習会テキスト含む
通信・運搬費	( 18,000 )	( 80,000 )	( △ 62,000 )	
旅費交通費	( 1,967,000 )	( 360,000 )	( 1,607,000 )	
必修講習会	9,811,400	9,348,550	462,850	
頒布資料印刷費	( 180,000 )	( 1,480,000 )	( △ 1,300,000 )	
システム運営費	( 4,473,400 )	( 4,321,690 )	( 151,710 )	
業務委託費	( 2,260,000 )	( 400,000 )	( 1,860,000 )	
諸謝金	( 245,000 )	( 222,740 )	( 22,260 )	講師旅費を含む
会場・会議費	( 1,825,000 )	( 1,840,000 )	( △ 15,000 )	
印刷費	( 220,000 )	( 50,000 )	( 170,000 )	テキスト含む
通信・運搬費	( 135,000 )	( 62,200 )	( 72,800 )	
旅費交通費	( 0 )	( 100,000 )	( △ 100,000 )	
払込手数料	( 473,000 )	( 871,920 )	( △ 398,920 )	
専門医制度委員会	7,500,100	10,109,500	△ 2,609,400	
頒布資料印刷費	( 0 )	( 2,156,000 )	( △ 2,156,000 )	専門医認定試験問題集
システム運営費	( 678,200 )	( 2,000,000 )	( △ 1,321,800 )	
業務委託費	( 175,000 )	( 172,000 )	( 3,000 )	専門医認定試験採点
諸謝金	( 515,000 )	( 516,500 )	( △ 1,500 )	
臨時雇い賃金	( 225,000 )	( 200,000 )	( 25,000 )	
会場・会議費	( 1,070,300 )	( 741,000 )	( 329,300 )	
印刷費	( 651,700 )	( 944,000 )	( △ 292,300 )	試験問題作成ほか
通信・運搬費	( 684,900 )	( 495,000 )	( 189,900 )	
旅費交通費	( 3,500,000 )	( 2,885,000 )	( 615,000 )	
工学フェロー認定審査委員会	256,500	267,000	△ 10,500	
会場・会議費	( 15,000 )	( 15,000 )	( 0 )	
通信・運搬費	( 6,700 )	( 17,000 )	( △ 10,300 )	
旅費交通費	( 234,800 )	( 235,000 )	( △ 200 )	
検査士制度委員会	21,018,400	19,520,000	1,498,400	
システム運営費	( 1,394,300 )	( 550,000 )	( 844,300 )	
業務委託費	( 312,000 )	( 312,000 )	( 0 )	
諸謝金	( 2,577,000 )	( 2,600,000 )	( △ 23,000 )	
臨時雇い賃金	( 1,630,400 )	( 1,570,000 )	( 60,400 )	
会場・会議費	( 7,763,900 )	( 6,880,000 )	( 883,900 )	
印刷費	( 2,670,800 )	( 2,494,000 )	( 176,800 )	
通信・運搬費	( 3,170,000 )	( 3,750,000 )	( △ 580,000 )	
旅費交通費	( 1,500,000 )	( 1,364,000 )	( 136,000 )	

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
国際交流委員会	5,393,300	4,239,000	1,154,300	
奨学金	( 2,400,000 )	( 1,200,000 )	( 1,200,000 )	2名
会費・分担金	( 2,650,300 )	( 2,648,000 )	( 2,300 )	AFSUMB分担金
諸謝金	( 120,000 )	( 60,000 )	( 60,000 )	
会場・会議費	( 13,000 )	( 21,000 )	( △ 8,000 )	
通信・運搬費	( 10,000 )	( 10,000 )	( 0 )	
旅費交通費	( 200,000 )	( 300,000 )	( △ 100,000 )	
WFUMB機関誌関係	977,900	1,110,000	△ 132,100	\$ 225*40冊
WFUMB機関誌購入費	( 866,300 )	( 990,000 )	( △ 123,700 )	
発送経費	( 111,600 )	( 120,000 )	( △ 8,400 )	
広報委員会	2,528,000	1,523,000	1,005,000	
システム運営費	( 2,528,000 )	( 1,523,000 )	( 1,005,000 )	メールマガジン発行含む
企画委員会	306,600	290,900	15,700	
会場・会議費	( 13,600 )	( 13,600 )	( 0 )	
通信・運搬費	( 3,000 )	( 3,000 )	( 0 )	
旅費交通費	( 290,000 )	( 274,300 )	( 15,700 )	
男女共同参画委員会	521,300	269,100	252,200	
諸謝金	( 100,200 )	( 50,000 )	( 50,200 )	
会場・会議費	( 52,100 )	( 16,100 )	( 36,000 )	
通信・運搬費	( 6,000 )	( 3,000 )	( 3,000 )	
旅費交通費	( 363,000 )	( 200,000 )	( 163,000 )	
事業費計	270,380,600	332,852,550	△ 62,471,950	
管理費				
給与手当	52,373,000	51,913,000	460,000	
会計顧問料	880,000	864,000	16,000	
福利厚生費	490,000	490,000	0	
法定福利費	8,631,000	9,397,200	△ 766,200	
職員交通費	1,512,500	1,498,200	14,300	
事務所賃借料	20,065,800	19,883,000	182,800	
事務用機器賃借料	917,100	918,000	△ 900	
備品費	200,000	200,000	0	
文具消耗品費	432,000	432,000	0	
光熱水料	1,200,000	1,164,000	36,000	
事務OA化費	1,800,000	800,000	1,000,000	
会場・会議費	864,000	864,000	0	
印刷費	1,532,000	1,568,000	△ 36,000	
通信・運搬費	3,325,500	3,210,700	114,800	
旅費交通費	3,300,000	3,000,000	300,000	理事会等
各種保険料	160,500	155,000	5,500	役員賠償責任保険・火災保険
租税公課	3,900,000	3,300,000	600,000	
払込手数料	2,500,000	2,500,000	0	
システム運営費	455,000	450,000	5,000	
会費・分担金	516,000	520,000	△ 4,000	日本医学会、公益法人協会ほか
雑費	400,000	440,000	△ 40,000	
保険委員会	625,000	625,000	0	
会費・分担金	( 600,000 )	( 600,000 )	( 0 )	内保連、外保連
会場・会議費	( 10,000 )	( 10,000 )	( 0 )	
通信・運搬費	( 5,000 )	( 5,000 )	( 0 )	
旅費交通費	( 10,000 )	( 10,000 )	( 0 )	
倫理委員会	13,000	12,900	100	
会場・会議費	( 10,000 )	( 9,900 )	( 100 )	
通信・運搬費	( 3,000 )	( 3,000 )	( 0 )	
利益相反委員会	210,000	241,000	△ 31,000	
会場・会議費	( 10,000 )	( 11,000 )	( △ 1,000 )	
旅費交通費	( 200,000 )	( 230,000 )	( △ 30,000 )	
規約関係	5,000	5,000	0	
通信・運搬費	( 5,000 )	( 5,000 )	( 0 )	
選挙関係	4,043,900	2,865,200	1,178,700	
会場・会議費	( 14,900 )	( 37,100 )	( △ 22,200 )	
印刷費	( 0 )	( 730,000 )	( △ 730,000 )	
通信・運搬費	( 3,000 )	( 1,029,200 )	( △ 1,026,200 )	
旅費交通費	( 0 )	( 493,900 )	( △ 493,900 )	
システム運営費	( 4,026,000 )	( 55,000 )	( 3,971,000 )	
業務委託費	( 0 )	( 520,000 )	( △ 520,000 )	
管理費計	110,351,300	107,316,200	3,035,100	
事業活動支出計 (B)	380,731,900	440,168,750	△ 59,436,850	
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	22,600,000	9,100,000	13,500,000	

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定預金取崩収入	900,000	1,200,000	△ 300,000	
松尾賞基金取崩収入	( 300,000 )	( 600,000 )	( △ 300,000 )	
伊東賞基金取崩収入	( 600,000 )	( 600,000 )	( 0 )	
投資活動収入計 (D)	900,000	1,200,000	△ 300,000	
2. 投資活動支出				
特定預金繰入支出	23,500,000	10,300,000	13,200,000	
退職給付引当預金支出	( 16,000,000 )	( 6,000,000 )	( 10,000,000 )	
学術奨励基金組入支出	( 3,500,000 )	( 2,300,000 )	( 1,200,000 )	
システム関連基金組入支出	( 4,000,000 )	( 2,000,000 )	( 2,000,000 )	
投資活動支出計 (E)	23,500,000	10,300,000	13,200,000	
投資活動収支差額 (F)=(D)-(E)	△ 22,600,000	△ 9,100,000	△ 13,500,000	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入			0	
財務活動収入計 (G)	0	0	0	
2. 財務活動支出			0	
財務活動支出計 (H)	0	0	0	
財務活動収支差額 (J)=(G)-(H)	0	0	0	
当期収支差額 (K)=(C)+(F)+(J)	0	0	0	
前期繰越収支差額 (L)		0	0	
次期繰越収支差額 (K)+(L)	0	0	0	

公益社団法人収支予算内訳書(損益計算ベース)

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計		収益事業等会計 小計	法人会計	内部取引消去	合計
	公1	資格認定事業	会員相互補助事業				
1.経常増減の部							
(1)経常収益							
基本財産運用収入	0	0	0	0	3,600	0	3,600
特定資産運用収入	2,650	0	0	0	0	0	2,650
入金金収入	725,000	0	0	0	725,000	0	1,450,000
会費収入	80,056,500	0	0	0	80,056,500	0	160,113,000
参加費収入	73,163,600	0	0	0	0	0	73,163,600
共催セミナー収入ほか	72,165,000	0	0	0	0	0	72,165,000
広告収入	7,384,000	0	0	0	0	0	7,384,000
試験・新規認定収入	0	51,736,000	0	51,736,000	0	0	51,736,000
更新認定収入	0	25,726,500	0	25,726,500	0	0	25,726,500
学会誌別刷収入	90,000	0	0	0	0	0	90,000
資料頒布収入	5,813,120	—	0	0	0	0	5,813,120
著作権・印税収入	2,038,430	—	0	0	0	0	2,038,430
寄付金収入	2,880,000	0	0	0	0	0	2,880,000
補助金・助成金収入	600,000	0	0	0	0	0	600,000
受取利息収入	500	0	0	0	15,500	0	16,000
雑収入	150,000	0	0	0	0	0	150,000
経常収益計	245,068,800	77,462,500	0	77,462,500	80,800,600	0	403,331,900
(2)経常費用							
事業費							
学会誌出版費	30,210,000	0	0	0	0	0	30,210,000
発送経費	4,861,600	0	0	0	0	0	4,861,600
校正費	3,300,000	0	0	0	0	0	3,300,000
表彰関係費	5,370,000	0	0	0	0	0	5,370,000
奨学金	2,400,000	0	0	0	0	0	2,400,000
給与手当	23,001,738	8,386,052	1,198,007	9,584,059	0	0	32,585,797
臨時雇い賃金	15,151,000	1,855,400	0	1,855,400	0	0	17,006,400
会計顧問料	550,000	0	0	0	0	0	550,000
法定福利費	4,142,880	1,510,425	215,775	1,726,200	0	0	5,869,080
職員交通費	726,006	264,688	37,813	302,501	0	0	1,028,507
事務所賃借料	9,631,584	3,511,515	501,645	4,013,160	0	0	13,644,744
備品費	0	0	0	0	0	0	0
文具消耗品費	9,565,500	0	0	0	0	0	9,565,500
光熱水料	576,000	210,000	30,000	240,000	0	0	816,000
会場・会議費	62,511,200	8,849,200	65,700	8,914,900	0	0	71,426,100
印刷費	14,445,000	3,322,500	0	3,322,500	0	0	17,767,500
通信・運搬費	5,472,246	4,443,563	92,138	4,535,701	0	0	10,007,947
旅費・交通費	14,273,800	5,234,800	653,000	5,887,800	0	0	20,161,700
頒布資料印刷費	180,000	0	0	0	0	0	180,000
WFUMB機関誌購入費	866,300	0	0	0	0	0	866,300
払込手数料	944,000	0	0	0	0	0	944,000
システム運営費	18,875,900	2,072,500	0	2,072,500	0	0	20,948,400
租税公課	1,891,500	682,500	0	682,500	0	0	2,574,000
業務委託費	35,961,000	487,000	0	487,000	0	0	36,448,000
会費・分担金	3,160,300	0	0	0	0	0	3,160,300
関連行事費	7,500,000	0	0	0	0	0	7,500,000
諸謝金	6,776,000	3,092,000	100,200	3,192,200	0	0	9,968,200
賞与引当金繰入額	2,137,302	779,223	111,318	890,541	0	0	3,027,843
退職給付費用	1,983,584	723,181	103,312	826,493	0	0	2,810,077
減価償却費	67,500	25,851	3,590	29,441	0	0	96,941
事業費計	286,532,040	45,450,398	3,112,498	48,562,896	0	0	335,094,936
管理費							
給与手当	0	0	0	0	15,334,498	0	15,334,498
会計顧問料	0	0	0	0	880,000	0	880,000
福利厚生費	0	0	0	0	490,000	0	490,000
法定福利費	0	0	0	0	2,761,920	0	2,761,920
職員交通費	0	0	0	0	483,993	0	483,993
事務所賃借料	0	0	0	0	6,421,056	0	6,421,056
事務所機器賃借料	0	0	0	0	917,100	0	917,100
備品費	0	0	0	0	200,000	0	200,000
文具消耗品費	0	0	0	0	432,000	0	432,000
光熱水料	0	0	0	0	384,000	0	384,000
事務所OA化費	0	0	0	0	1,800,000	0	1,800,000
会場・会議費	0	0	0	0	908,900	0	908,900
印刷費	0	0	0	0	1,532,000	0	1,532,000
通信・運搬費	0	0	0	0	1,080,153	0	1,080,153
旅費・交通費	0	0	0	0	3,510,000	0	3,510,000
租税公課	0	0	0	0	1,326,000	0	1,326,000
払込手数料	0	0	0	0	2,500,000	0	2,500,000
システム運営費	0	0	0	0	4,481,000	0	4,481,000
会費・分担金	0	0	0	0	1,116,000	0	1,116,000
保険料	0	0	0	0	160,500	0	160,500
業務委託費	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	400,000	0	400,000
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	1,424,862	0	1,424,862
退職給付費用	0	0	0	0	1,322,383	0	1,322,383
減価償却費	0	0	0	0	46,677	0	46,677
管理費計	0	0	0	0	49,913,042	0	49,913,042
経常費用計	286,532,040	45,450,398	3,112,498	48,562,896	49,913,042	0	385,007,978
当期経常増減額	△ 41,463,240	32,012,102	△ 3,112,498	28,899,604	30,887,558	0	18,323,922
2.経常外増減の部							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 41,463,240	32,012,102	△ 3,112,498	28,899,604	30,887,558	0	18,323,922
一般正味財産期首残高	111,332,612			39,562,078	90,042,523		240,937,213
一般正味財産期末残高	69,869,372			68,461,682	120,930,081		259,261,135

(資料6)

## 令和2・3年度公益社団法人日本超音波医学会理事及び監事候補者等

(自 令和2年6月21日 至 令和4年度定時社員総会終結時)

### 1 理事候補者 氏名(敬称略)・専攻・所属

(投票によって選任された候補者 五十音順) 20名

秋山 いわき 理工学関係者 同志社大学生命医科学部医情報学科  
飯島 尋子 医師 兵庫医科大学消化器内科  
石津 智子 医師 筑波大学臨床検査医学  
位藤 俊一 医師 近畿大学外科学教室乳腺内分泌外科  
岩永 史郎 医師 埼玉医科大学国際医療センター心臓内科  
小川 眞広 医師 日本大学病院消化器内科・超音波検査室  
金井 浩 理工学関係者 東北大学大学院工学研究科電子工学専攻 / 医工学研究科医工学専攻  
菊池 昭彦 医師 埼玉医科大学総合医療センター産婦人科・総合周産期母子医療センター母体胎児部門  
北野 雅之 医師 和歌山県立医科大学第二内科  
工藤 信樹 理工学関係者 北海道大学大学院情報科学研究院  
椎名 毅 理工学関係者 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻  
瀬尾 由広 医師 名古屋市立大学大学院医学研究科 心臓・腎高血圧内科学  
西田 睦 医師・理工学関係者以外 北海道大学病院診療支援部 検査・輸血部 / 超音波センター  
長谷川 英之 理工学関係者 富山大学大学院理工学研究部知能情報工学専攻  
畠 二郎 医師 川崎医科大学検査診断学  
日浅 陽一 医師 愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学  
平井 都始子 医師 奈良県立医科大学附属病院総合画像診断センター  
廣岡 芳樹 医師 藤田医科大学消化器内科Ⅱ  
丸山 紀史 医師 順天堂大学消化器画像診断・治療学  
森 秀明 医師 杏林大学医学部消化器内科学

(現理事会の推薦によって選任された候補者 五十音順) 5名

市橋 光 医師 自治医科大学附属さいたま医療センター小児科  
陣崎 雅弘 医師 慶應義塾大学医学部放射線診断科  
濱口 浩敏 医師 北播磨総合医療センター脳神経内科  
古川 まどか 医師 神奈川県立がんセンター頭頸部外科  
渡邊 望 医師 宮崎市郡医師会病院検査科・循環器内科

以上 25名

(25名の理事候補者の専攻・領域・地域)

No	区分	氏名(敬称略)	専攻	領域	地域
1	投票	平井 都始子	医師	総合	関西
2	推薦	市橋 光	医師	総合(小児科)	東京を除く関東
3	投票	石津 智子	医師	循環器	東京を除く関東
4	投票	岩永 史郎	医師	循環器	東京を除く関東
5	投票	瀬尾 由広	医師	循環器	東海
6	投票	飯島 尋子	医師	消化器	関西
7	投票	小川 眞広	医師	消化器	東京都
8	投票	北野 雅之	医師	消化器	関西
9	投票	畠 二郎	医師	消化器	中国
10	投票	日浅 陽一	医師	消化器	四国
11	投票	廣岡 芳樹	医師	消化器	東海
12	投票	丸山 紀史	医師	消化器	東京都
13	投票	森 秀明	医師	消化器	東京都
14	推薦	渡邊 望	医師	循環器	九州
15	推薦	陣崎 雅弘	医師	腎・泌尿器	東京都
16	投票	菊池 昭彦	医師	産婦人科	東京を除く関東
17	投票	位藤 俊一	医師	乳腺	関西
18	推薦	古川 まどか	医師	甲状腺	東京を除く関東
19	推薦	濱口 浩敏	医師	血管	関西
20	投票	秋山 いわき	理工学関係者		関西
21	投票	金井 浩	理工学関係者		東北
22	投票	工藤 信樹	理工学関係者		北海道
23	投票	椎名 毅	理工学関係者		関西
24	投票	長谷川 英之	理工学関係者		甲信越・北陸
25	投票	西田 睦	医師・理工学関係者以外		北海道

**2 監事候補者** 氏名(敬称略)・所属 2名

山口 匡 千葉大学フロンティア医工学センター

吉田 寛 日本医科大学付属病院消化器外科

**3 理事補欠候補者** 氏名(敬称略)・所属

医師 谷口 信行 自治医科大学臨床検査医学

理工学関係者 なし (理事候補者以外に立候補者がなかったため)

医師・理工学関係者以外 なし (理事候補者以外に立候補者がなかったため)

**4 監事補欠候補者** 氏名(敬称略)・所属

尾本 きよか 自治医科大学附属さいたま医療センター総合医学第1講座

(資料7)

会費滞納による会員資格喪失者

(令和2年3月31日現在)

148名

内訳

正会員 82名

シニア会員 5名

準会員 60名

学生会員 1名

(資料 8)

### 名誉会員推薦

本会名誉会員規則第 4 条に基づき、以下の方を推薦する。

くどう まさとし  
工藤 正俊 氏

### 功労会員推薦

本会功労会員規則第 4 条に基づき、以下の 8 名の方を推薦する。

1. まつもと じゅん  
松元 淳 氏
2. つだ まさゆき  
津田 雅之 氏
3. きさぬき あきら  
木佐貫 彰 氏
4. やまだ ひろやす  
山田 博康 氏
5. いぬい かずお  
乾 和郎 氏
6. きはら やすき  
木原 康樹 氏
7. くろひじ としひこ  
黒肱 敏彦 氏
8. ちば ゆたか  
千葉 裕 氏

(資料 9)

## 各賞候補者

### 第 22 回特別学会賞

森安 史典 (山王病院)

### 第 19 回松尾賞

飯島 尋子 (兵庫医科大学 超音波センター)

### 論文賞

#### 第 34 回菊池賞

**Identification of vascular lumen by singular value decomposition filtering on blood flow velocity distribution(J Med Ultrasonics Vol. 46, No. 2)**

Ryo Nagaoka<sup>1</sup> · Hideyuki Hasegawa<sup>1</sup>

(<sup>1</sup> Graduate School of Science and Engineering for Research, University of Toyama)

#### 第 15 回伊東賞

**Role of intra-ventricular vortex in left ventricular ejection elucidated by echo-dynamography(J Med Ultrasonics Vol. 46, No. 4)**

Motonao Tanaka<sup>1</sup> · Tsuguya Sakamoto<sup>2</sup> · Yoshifumi Saijo<sup>3</sup> · Yoshiaki Katahira<sup>4</sup> · Shigeo Sugawara<sup>5</sup> · Hiroyuki Nakajima<sup>1</sup> · Takafumi Kurokawa<sup>1</sup> · Hiroshi Kanai<sup>6</sup>

(<sup>1</sup> Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku Medical and Pharmaceutical University Hospital, <sup>2</sup> Hanzomon Hospital, <sup>3</sup> Graduate School of Biomedical Engineering, Tohoku University, <sup>4</sup> Katta General Hospital, <sup>5</sup> Nihonkai General Hospital, <sup>6</sup> Department of Electronic Engineering, Tohoku University)

**Feasibility and usefulness of endoscopic ultrasonography-guided shear-wave measurement for assessment of autoimmune pancreatitis activity: a prospective exploratory study(J Med Ultrasonics Vol. 46, No. 4)**

Eizaburo Ohno<sup>1</sup> · Yoshiki Hirooka<sup>2</sup> · Hiroki Kawashima<sup>1</sup> · Takuya Ishikawa<sup>1</sup> · Hiroyuki Tanaka<sup>1</sup> · Daisuke Sakai<sup>1</sup> · Yoji Ishizu<sup>1</sup> · Teiji Kuzuya<sup>1</sup> · Masanao Nakamura<sup>1</sup> · Takashi Honda<sup>1</sup>

(<sup>1</sup> Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagoya University Graduate School of Medicine, <sup>2</sup> Department of Endoscopy, Nagoya University Hospital)

#### 第 20 回技術賞

超音波装置の安全性評価方法に関する新規 IEC 規格の作成 (IEC TS 63070 ED.1 熱画像温度測定方法)

山崎 聡 (一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA)ヘルスケアインダストリ部会 医用超音波専門委員会)

## 第9回新人賞

北海道地方会

清水 理一郎（北海道大学 大学院情報科学研究学院）

【基礎】

「超音波照射下における微小気泡と血管壁相互作用の観察を目指した三次元毛細血管モデルの開発」

東北地方会

新橋 諒（東北大学 大学院医工学研究科）

【基礎】

「細胞の鮮明なイメージングを可能にする高分解能光音響顕微鏡の開発」

関東甲信越地方会

山重 大樹（虎の門病院 消化器内科）

【消化器】

「検診腹部超音波検査にて膵頭部腫瘍像，膵管拡張像を契機に発見された膵上皮内癌の1切除例」

中部地方会

中島 由紀夫（藤田医科大学 肝胆膵内科）

【消化器】

「孤立性肺原発性転移性膵腫瘍の一例」

関西地方会

家原 卓史（国立病院機構大阪医療センター 循環器内科）

【循環器】

「透析により速やかに改善した重度機能性像帽弁逆流の1例」

中国地方会

高須 将伸（川崎医科大学附属病院 臨床教育研修センター）

【消化器】

「ゆらぎ現象解析ソフトウェアによる肝血管腫診断の試み」

四国地方会

香西 亜優美（香川大学医学部 母子科学講座周産期学婦人科学）

【産婦人科】

「3D超音波を用いた胎児中枢神経系疾患の観察」

九州地方会

生駒 真一郎（霧島市立医師会医療センター 外科）

【消化器】

「超音波検査が有用であった横隔膜神経内分泌腫瘍（NET G2）の一例」

### 【顕彰委員会】

委員長 椎名 毅

副委員長 蜂屋 弘之

委員

（基礎） 秋山 いわき

（総合） 尾本 きよか

（循環器） 大手 信之 尾辻 豊 増山 理

（消化器） 小川 真広 北野 雅之 畠 二郎

（泌尿器） 千葉 裕

（産婦人科） 菊池 昭彦 馬場 一憲

（乳腺） 安田 秀光